

2005 (平成17) 年度

講義内容

医療健康科学部

人駒澤大學

講 義 内 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	21
(1)	人 文 分 野	21
(2)	社 会 分 野	40
(3)	自 然 分 野	63
(4)	総 合 分 野	72
3	外 国 語 科 目	81
4	保 健 体 育 科 目	117
II	専 門 教 育 科 目	131
III	「日本語」・「日本事情」科目	171

全	宗教教育科目
	人文分野
学	社会分野
	自然分野
共	総合分野
	外国語科目
通	保健体育科目
	専門教育科目
科	「日本語」
	「日本事情」

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈岡本一平〉	9
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山俊英〉	9
仏教と人間〔再クラス〕	〈福田孝雄〉	10
仏教と人間〔再クラス〕	〈村松哲文〉	10
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津宜英〉	11
文化と宗教	〈長谷部八朗〉	11
社会と宗教	〈池上良正〉	12
自然と宗教	〈小川順敬〉	12
坐禅	〈佐藤秀孝・熊本英人〉	13

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	おかもと いてい 岡本 一平	放1必	4

講義のねらい 仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では欧米諸国の仏教徒によっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情に関連するように講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、考えるための材料を多く手にすることが出来るようにします。

講義の内容・授業スケジュール
 前期：仏教の思想と歴史に関する概論
 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想
 後期：日本における仏教について
 ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教

履修上の留意点 講義形式で行いますが、筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁です。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法 不定期にとる出席と学年末試験により評価します。

教科書 プリントを使用します。

参考書等 袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれやま しゆん えい 晴山 俊英	放2・3・4年	4

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点 仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等 授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	福田孝雄	放2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、經典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	村松哲文	放2・3・4年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではなかろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、經典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづ よしひで 吉津 宣英	放2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいますが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な人にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ はちろう 長谷部 八郎	放選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	いけがみ よし まさ 池上良正	放選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	おがわ とし ゆき 小川順敬	放選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅 (前期)(後期)	まとう しょうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人	放選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔日本文学「古典」〕	〈八島由香〉	21
文学〔日本文学「古典」〕	〈平野由紀子〉	21
文学〔日本文学「近代」〕	〈川島淳史〉	22
文学〔日本のことば〕	〈保明陽子〉	22
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	〈田中保〉	23
文学〔外国文学「フランス文学」〕	〈小玉齊夫〉	23
文学〔外国文学「中国文学」〕	〈清水浩子〉	24
文学〔日本文学「近代」〕	〈小林治〉	24
文学〔日本文学「古典」〕	一フレックスB開講一〈田中伸作〉	25
文学〔日本文学「近代」〕	一フレックスB開講一〈保明陽子〉	25
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴木聡〉	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈河谷淳〉	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈山口祐弘〉	27
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈滝口清栄〉	27
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	一フレックスB開講一〈伊古田理〉	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	一フレックスB開講一〈麻生享志〉	29
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	30
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	31
倫理学(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	31
倫理学(4)(7)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	32
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	32
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈水口拓寿〉	33
倫理学〔現代と倫理〕	一フレックスB開講一〈古田知章〉	34
倫理学〔人生と倫理〕	一フレックスB開講一〈水口拓寿〉	35
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	35
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	36
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	〈小川順敬〉	37
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	〈洗建〉	37
宗教学(5)〔生活と宗教〕	〈菅原壽清〉	38
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	〈佐藤憲昭〉	38
宗教学〔比較宗教文化〕	一フレックスB開講一〈田中かの子〉	39

(2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳 三〉	40
社会学〔現代文化を考える〕			
社会学〔社会生活を考える〕			
社会学〔社会生活を考える〕	〈小 畑 和〉	41
社会学〔現代社会を考える〕	—フレックスB開講—	〈呉 炳 三〉	... 42
社会学〔現代文化を考える〕	—フレックスB開講—	〈橋 爪 敏〉	... 42
文化人類学〔文化と人間〕	〈森 雅 文〉	43
文化人類学〔文化と人間〕	〈加 藤 之 晴〉	43
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉 井 純 一〉	44
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈鈴 木 一 馨〉	45
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小 川 順 敬〉	46
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈内 山 明 子〉	46
文化人類学〔文化と人間〕	—フレックスB開講—	〈川 上 新 二〉	... 47
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	—フレックスB開講—	〈杉 井 純 一〉	... 48
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	49
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈和 知 恵 一〉	50
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈沼 田 雅 之〉	51
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鷄 徳 啓 登〉	52
法学・憲法〔法と権利〕	〈沼 田 雅 之〉	53
法学・憲法〔法と国家〕	〈佐 藤 多 美 夫〉	54
法学・憲法〔法と国家〕	〈新 田 浩 司〉	55
法学・憲法〔法と国家〕	〈織 田 晃 子〉	56
法学・憲法〔法と権利〕	〈茂 野 隆 晴〉	57
法学・憲法〔法と権利〕	—夏季集中—	〈池 田 実〉 58
法学・憲法〔法と権利〕	—フレックスB開講—	〈鷄 徳 啓 登〉 59
法学・憲法〔法と社会生活〕	—フレックスB開講—	〈長谷川 日出世〉 59
経済学〔現代社会と市場経済〕	〈畠 中 貴〉	60
経済学〔現代経済と人間〕	〈森 田 成 也〉	61
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈佐 藤 綾 野〉	62
経済学〔現代経済と人間〕	—フレックスB開講—	〈明 瀬 政 治〉 62

(3) 自然分野

基礎数学	学	〈熊坂 さつき〉	63
基礎物理学	学	〈北沢日出男・佐藤昌憲〉	64
基礎化学	学	〈原田 和正〉	64
生命科学	学	〈清水 善和〉	65
情報処理技術	学	〈近藤 啓介〉	66
物理学序論	学	〈佐藤昌憲・北沢日出男〉	67
化学序論	学	〈山本 祐右〉	68
科学基礎論	学	〈氏家 盛通〉	69
科学基礎論	学	〈熊坂 さつき〉	69
科学基礎論	学	〈佐藤 昌憲〉	70
科学基礎論	学	〈近藤 啓介〉	70
科学基礎論	学	〈山本 祐右〉	71
科学基礎論	学	〈吉川 宏起〉	71

(4) 総合分野

総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕〈ピアス, D. M.〉	72
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕〈岡崎 寿一郎〉	73
総合Ⅲ(3)〔女性学・男性学〕〈杉山 秀子〉	74
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕〈林 明人〉	74
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕〈西村 祐子〉	75
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕〈丸小 哲雄〉	75

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 〔日本文学「古典」〕	やしま ゆが 八 島 由 香	放 選	4

講義のねらい

平安後期物語は、『源氏物語』の影響を多大に受けながらも、独自のストーリー展開をさせていこうと、趣向をこらしている物語が多く、『浜松中納言物語』もその一つとしてあげることができます。この作品を読み、内容・特色を理解し、物語文学における平安後期物語のあり方について考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『浜松中納言物語』は、『更級日記』を書いた菅原孝標女が作者だと言われているものの、不明。主人公・中納言が、唐国の后に叶わぬ恋の思いを抱き続けるという『浜松中納言物語』のストーリーには、后が中納言の切なる恋心によって転生を繰り返すという趣向がこらされています。そのためこの作品は、現実味に欠ける荒唐無稽な物語と評されていますが、果たしてそうでしょうか。『浜松中納言物語』に対する不幸な評価は、特定の価値観を尺度とした「読み」によるものではないでしょうか。

この講義では、まず平安時代の物語文学、並びに『浜松中納言物語』の散逸首巻と巻一の概説をする。それから巻二と巻三を読み進めていくことで、中納言の後への愛の永続性をものごとたりながらも、尼姫君・大式女・吉野姫といった女性達に心惹かれる中納言の思いを読み解いていきます。その上で巻四・巻五の場面をいくつか取り上げて物語の全体像を捉え、特定の価値観に捕らわれない「読み」をしたい。

成績評価の方法

出席状況と講義内で度々行う小レポートによって評価します。講義開始時間から、二十分以上の遅刻は出席としません。二十分以内の遅刻は二回で欠席一回と数え、前・後期各四回を数えた時点で単位を認定しません。なお、出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。

そ の 他

プリントを用いての講義形式です。初回は講義内容や評価方法の説明をするため、二回目の講義から出席をとります。なお、受講を希望する四年生は、別に出席に関する説明がありますので、三回目までには必ず出席をして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 〔日本文学「古典」〕	ひらの ゆきこ 平 野 由 紀 子	放 選	4

講義のねらい

現在、日本は国際社会において重要な役割を担っているが、真の国際人であるためには自国の文化や歴史を知ることが重要である。そこで、日本文学の原点とも言える万葉集の歌をよむことによって、その歴史的背景を知ると共に、古代人の生き方や考え方を理解する。

万葉前期は大化の改新から壬申の乱を経て、律令国家体制の確立された時代であり、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。額田王や柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の和歌が生まれ出た。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。

万葉後期は歌の舞台が都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに及び、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちのほか、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。それらの歌を通して、当時の社会や人々の考え方を学んでみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 前期万葉の歌をよむ。 (1・2) 歌謡から和歌へ (3・4) 前期万葉の時代 (5～7) 斉明・天智朝—額田王を中心に (8・9) 天武朝と大津皇子・大伯皇女 (10～12) 持統朝—柿本人麻呂を中心に (13) 持統朝—高市黒人・万葉前期のまとめ (後期) 後期万葉の歌をよむ。 (14) 万葉第三期について (15・16) 大伴旅人 (17・18) 山上憶良 (19) 山部赤人 (20) 高橋虫麻呂 (21) 万葉第四期について (22～24) 大伴家持 (25) 防人歌・東歌 (26) 万葉後期のまとめ

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。出席・授業態度等も考慮する。なお、出席は授業内容に関するコメントの提出によりとる。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』(笠間書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	かわしまあつし 川島淳史	放選	4

- 講義のねらい**

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治二十年代から三十年代にかけての時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察していきたい。
- 講義の内容・授業スケジュール**

今年度は日清戦争前後から日露戦争前後にかけての文壇の動向を中心に考察していきたい。この時期、日本は政府の主導により、積極的に近代化を推進し、西洋の思想・技術・文明を摂取して、国民国家を形成していった。しかし、その性急な近代化は他方でさまざま社会問題を引き起こす原因ともなったのである。そのような時代状況のなかで、文学者たちはそれをどのように見詰め、作品に書きあらわしていったのか。森鷗外、北村透谷、泉鏡花、川上眉山、広津柳浪、樋口一葉、内田魯庵などの作品を通して「日本の近代」の諸問題を検討していきたいと思う。
- 履修上の留意点**

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してこること。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくことが必要。
- 成績評価の方法**

講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。
- 教科書**

詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらう。
- 参考書等**

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本のことば〕	ほあきようこ 保明陽子	放選	4

- 講義のねらい**

明治時代の作品を読むことで、その時代の雰囲気を実際に感じる。高校の教科書にある森鷗外『舞姫』がかつて読みにくかったように、今となっては一人でスラスラとは読めなくなってしまっている明治20年代から30年代の作品を、そこに書かれている一字一句の「ことば」の背景に立ち戻り、そこから推測できる「ことば」の意味を吟味しながら読むことで、実はその作品に含まれていた明治の社会や文化をもじっくり体験する。
- 講義の内容・授業スケジュール**

「写実」というテーマにかかわる作品を読む。小説にかぎらず評論なども含む。文学作品は、「ことば」によって何かを写し表現しているものであるが、「写実」の定義は個々の作家によって異なる。したがって、この講義では、明治の「ことば」にふれながら、明治の人々の「ことば」に対する概念を探る。具体的な作品については、最初の講義において明らかにする。
- 履修上の留意点**

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を体験し、その成果を表現することが要求される。
- 成績評価の方法**

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形でとわれ、その提出状況と内容が成績に反映される。
- 教科書**

『日本近代文学評論選【明治・大正篇】』岩波文庫（緑171-1） 千葉俊二／坪内祐三編 岩波文庫刊
- 参考書等**

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中保 <small>たなか たもつ</small>	放選	4

講義のねらい

アメリカは1776年の独立宣言から数えて230年足らずの歴史の短い国である。それ故にアメリカ文学の歴史も浅いといえる。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を主要作家一覧表から1人選び、その作家の作品を1編選んで読み、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作家一覧表から関心をもつ作家を1人選び読んで、1人もしくはグループ編成をし、発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

授業の際に、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「フランス文学」〕	小玉齊夫 <small>こだま なり お</small>	放選	4

講義のねらい

フランス文学の流れを概観する授業です。ただし、無限定に対象を広めるわけにもいかないので、具体的には、①時代の内に在る個人を扱った、いわゆる「心理小説」、②社会の「文化的意識」の「反映」としての小説、というふたつの流れを辿りつつ、19世紀以降の「フランス文化」の生成について、その方向、意義を摘出していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

フランス文学上の「古典」とされている諸作品を講読（もしくは提示）していき、それぞれに表現された「文化的な意義」（したがって、時には、文学を離れて、絵画、映画等にも触手を伸ばしていく…）を定着させていきます。一、二回の授業で、一人の作家（作品）を扱うという進度予定です。

履修上の留意点

個々の作品を自身で読んでみて、その「現代的意義」を自分で作り上げてみて下さい。

成績評価の方法

課題に基づくレポート（前期および後期）、それと概説的な記述試験（学年末）によって評価します。

教科書

必要に応じて、作品（の一部）のプリント（邦訳）、および、必読文献のリストを配付します。

その他

特に、フランス語の「短期セミナー」に参加希望のひとには、受講をすすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「中国文学」〕	清水浩子 <small>しみず ひろこ</small>	放選	4

講義のねらい	前期の前半は中国神話・伝説について解説する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応劭の神話・伝説・俗説についての考え方を知る。
講義の内容・授業スケジュール	神話・伝説・俗説について、テキストに従って講読・解説を行う。
履修上の留意点	毎時間、その日の講義に対する意見を書き、それを提出してもらう。
成績評価の方法	年間3～4回のレポートと毎時間の意見文を参考に総合的に判断する。
教科書	中村璋八・清水浩子著『風俗通義』（明德出版社）
参考書等	授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	小林治 <small>こばやし おさむ</small>	放選	4

講義のねらい	優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。
講義の内容・授業スケジュール	対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。
履修上の留意点	具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。 安部公房『砂の女』 深沢七郎『檀山節考』 上野英信『追われゆく坑夫たち』
成績評価の方法	定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。
教科書	安部公房『R62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）552円 安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）514円
参考書等	授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 〔日本文学「古典」〕 —フレックスB開講—	た な か しん さく 田 中 伸 作	放 選	4

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教 科 書

『平家物語抄』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 〔日本文学「近代」〕 —フレックスB開講—	ほ あ き よ う こ 保 明 陽 子	放 選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・
授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探求し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教 科 書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』双文社出版 2,000円
随時プリントも配布する。

参 考 書 等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すずき さとる 鈴木 聡	放選	4

講義のねらい 論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点 毎回の出席が要求される。

成績評価の方法 成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書 配布プリント

参考書等 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわたに あつし 河谷 淳	放選	4

講義のねらい 私たちが日常生活においてまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこには思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気ない発言にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な推論形式とはどのようなものであるのかを考える学だと言うことができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらに、様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつむところにある。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期：伝統的論理

- (a) 論理学の基本概念(概念・命題・推論)
- (b) 演繹推理(定言・仮言三段論法の妥当性の判定)
- (c) 帰納推理(ミルの方法、仮説演繹法)

後期：現代論理(記号論理)入門

- (d) 命題論理(日常言語の記号化と推論の証明)
- (e) 述語論理(日常言語の記号化と推論の証明)

履修上の留意点 継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法 中間・期末試験(それぞれ40点満点)と夏休みレポートと出欠の総合点で評価する。

教科書 『新しい認識への論理』(公論社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やまぐちまさひろ 山口祐弘	放選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対比
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	たきぐちきよあき 滝口清栄	放選	4

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によっておこなわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。私たちはそれらの情報に時にあいまいさを感じたり不快な気持ちをもったりする。あるいは納得したりする。このようなことに目を向けるならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感にならざるをえないのではなからうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が重要なものと思えてくるであろう。本講義では、このような基礎をしっかりとしたものとするよう思考の諸法則を検討していきたい。講義はできるだけ理解しやすいように努める。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていくが、記号論理学にも立ち入る。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題を解く機会をできるだけ設けて、思考の諸法則の理解に努める。積極的な取り組みを期待したい。

成績評価の方法

小テストならびに学年末テストにより成績を評価する。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	矢野 浩司 のひろし	放選	4

講義のねらい デイバート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。
初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール まずデイバートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジュアル戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点 単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいらぬ人やリピーターの参加は歓迎します。
昨年は学生からの提案で「論理王決定戦」と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法 中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書 プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等 その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕 ―フレックスB開講―	伊古田 理 いごた まさる	放選	4

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理 (4) コンピュータと論理

成績評価の方法 年2回の試験（夏期中間試験+年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書 野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕 —フレックスB開講—	あさお たかし 麻生 享志	放選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（１）論理とは何かを考え、（２）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（３）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (1) 〔人間観〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	放 選	4

人
文
分
野

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎剛	放選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢正之	放選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) (7) 〔応用倫理学〕	矢野 浩 司 の ひろ し	放選	4

講義のねらい 例えば、自動車でスーパーマーケットに行つて、バックされた牛肉を買つて、ポリエチレン製の袋に入れてもらつて、家に持つて帰つて食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考へて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによつて、考へること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール 毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

- 履修上の留意点** 今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。
- 成績評価の方法** 中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。
- 教科書** プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。
- 参考書等** その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清 栄 たき ぐち きよ えい	放選	4

講義のねらい 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあつても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考へざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかへておくことが、今日の問題を考へていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐり考へるのあとを檢討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を檢討していく。

- 講義の内容・授業スケジュール** こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。
- 履修上の留意点** 講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
- 成績評価の方法** 中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。
- 教科書** 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円
- 参考書等** 高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくじゅ 水口拓寿	放選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を採りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書 A の章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書 B の章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てていくことに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

- A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 〔現代と倫理〕 —フレックスB開講—	ふる た とも あき 古 田 知 章	放 選	4

人
文
分
野

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかねばならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立つてこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕 —フレックスB開講—	みなくちたくしほ 水口拓寿	放選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

- A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
 - B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
- 受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみよしまさ 池上良正	放選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。
- (2) 人類史と宗教。(3) 現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	たなか のこ 田 中 かの子	放 選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ．宗教学の基本的立場、Ⅱ．原始時代の宗教、Ⅲ．一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ．諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ．聖なる母性の比較美術、Ⅵ．仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ．ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立つよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教 科 書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参 考 書 等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

そ の 他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	小川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>	放選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのではないでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	洗 健 <small>あらい けん</small>	放選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実を即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようなになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔生活と宗教〕	菅原 壽清 <small>すが わら とし きよ</small>	放選	4

講義のねらい 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法 試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書 指定なし

参考書等 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他 授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>	放選	4

講義のねらい 宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえば、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点 欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法 学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。[課題] 宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。[字数] 本文は2000字。[提出先と時期] 授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。[その他] 表紙をつけること。

教科書 使用しない。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕 —フレックスB開講—	た なか こ 田 中 かの子	放選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教を選び、それぞれの歴史・思想・文化を仏教との比較において講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 [現代社会を考える] [現代文化を考える] [社会生活を考える]	呉 びよん さん 炳 三	放選	4

社会分野

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持っていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。また、毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	お ぼ ば た 小 畑 和	放選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一の立場を見出だし難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的（Macroscopic）なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
 - (2) 誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）
 - (3) 幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）
 - (4) 家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）。
 - (5) 消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…）
 - (6) 会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）
 - (7) 老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕 —フレックスB開講—	お 呉 びよん さん 三	放選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持つていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社） 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕 —フレックスB開講—	はし づめ さとし 橋 爪 敏	放選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	もり 森 まさ 雅 ふみ 文	放選	4

講義のねらい

文化人類学は、諸文化の比較を通して人類の共通性と人間のあり方の多様性を解説する学問です。その醍醐味は、秘境を冒険したり奇習を知ることではなく、さまざまな人間性の表現を知り、そのまなざしを自分の身のまわりの事象にも向ける知的冒険です。講義は『他者』と『自己』のリアリティをめぐる文化理解の基礎的な枠組みと洞察力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

異文化理解を通じて形成された枠組みを、様々な民族史事例とともに解説します。前期は人々の社会関係や連帯・統合に関する議論を、後期は宗教と医療に焦点を絞って人の存在様式やコスモロジーをめぐる議論を講述します。予定の詳細は初回に提示します。

〈前期〉学史の概観（文化概念・通時／共時的視座）、人の一生と社会化（人生の諸理論・通過儀礼・ジェンダー）、家族・親族の絆（親子・婚姻・出自・祖先祭祀）、互酬性（交換／贈与）、エスニシティ（人種・民族・国家・日本論）

〈後期〉民俗知識と経験、呪術と社会（妖術・邪術・シャーマニズム）、儀礼と象徴（文化の境界・穢れ・宇宙論・神話・秩序・物語論・場所）、人の存在様式（多重人格・憑依・王権）、医療文化（伝統医療・国民文化・健康・病い・死）

履修上の留意点

受講生の意見も講義に還元したいので積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期後期の学年末筆記試験が基本ですが、授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容を平常点として加味します。

教科書

特定の教科書は指定しません。

参考書等

内容が多岐に渡るので適宜授業時に紹介します。

その他

授業は講義形式。ビデオ等の視聴覚教材も使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	か 加 とう 藤 ゆき 之 はる 晴	放選	4

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そしてフィールドワークと呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくおこないを通して、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに世界・家族・身体・宗教・病いなどのキイ・ワードを挙げ、文化人類学ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価するが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とする。

教科書

特定の教科書は用いない。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布し、これに基づいて授業を進行する。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すき い じゆん いち 杉 井 純 一	放 選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化人類学の歩み(1)
 3. 文化人類学の歩み(2)
 4. 文化とコミュニケーション
 5. 環境と人間(1)狩猟採集民
 6. 環境と人間(2)牧畜民
 7. 環境と人間(3)農耕民
 8. ジェンダー
 9. セクシュアリティ
 10. 婚姻の形態
 11. 家族の多様性
 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. アニミズム
 3. シャーマニズム
 4. シンクレティズム
 5. 儀礼の構造
 6. コスモロジー
 7. 神話
 8. 政治組織
 9. 民族とエスニシティ
 10. 民族紛争と戦争
 11. 開発と文化
 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴 木 一 馨	放 選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」というものを、さまざまな方向から検討して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期にまず「文化」とそれを研究する「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」について基礎的な知識を得た上で、コスモロジーとはどのようなものかを学ぶ。後期はこの基礎に立ち、コスモロジーの具体例として「風水」を成り立たせている様々なコスモロジーと、現実空間への対応、そしてそのことが人間社会にとってどのような意味を持つのかを学ぶ。これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

第1部. 文化人類学と民族

(1～3)「文化」と「文化人類学」 (4～6)「民族」とはなにか

第2部. 民族とコスモロジー

(7～8)「コスモロジー」とはなにか (9～10) 天とひとつのコスモロジー
(11～13) 世界の断絶と連続

第3部. 風水のコスモロジー

(14～20) 風水を構成する宇宙論 (21～22) 風水による現実空間の意味付け
(23～26) 風水と人間社会

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教 科 書

プリントを使用する。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門 (増補改訂版)』(中公新書560、1990年) 840円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店、2002年) 1,470円
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年) 1,995円
 鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講談社選書メチエ244、2002年) 1,575円

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	放選	4

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降は新しい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	内山 明子 <small>うちやま あきこ</small>	放選	4

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだ。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方（文明と未開、フィールドワークと民族誌、主要な学説紹介、親族、世界観）
- II 社会変化と価値観（文化や社会についての新しい考え方、近代化と文化人類学——世界システム論、植民地主義と新植民地主義、民族国家成立と民族問題）

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕 —フレックスB開講—	かわ しみ しん じ 川 上 新 二	放 選	4

講義のねらい

国境を越えての交流がますます活発になっている現代社会では、私たち一人一人もこれからさまざまな国や地域の友人と出会うことになるであろうし、また既に出会っている人もいると思います。それらの友人を理解し、交流をさらに深めるためには、彼らが生まれ育った社会の生活様式（すなわち文化）を理解する必要があります。なぜなら人はそれぞれの生活様式の影響を大きく受けて暮しているからです。そのような生活様式の中には、私たちから見て不思議に思うものもあるかもしれません。しかし、なぜそのような生活様式の中で人々は暮しているのかということを考えずに、好奇心や奇異な目だけで眺めると、思わぬ誤解を招くことにもなりかねません。この講義では、世界各地の人々のさまざまな生活様式（文化）を客観的に理解するための視野を養うことを目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期では文化人類学の概要や文化人類学による異文化の見方を中心に紹介します。①文化人類学とは、②人間と文化、③言語、④異文化と自文化、⑤文化人類学による異文化理解（例として、〈a〉男女の性差と文化、〈b〉生物学的な親と社会的な親、〈c〉結婚と住居、〈d〉父方の苗字と母方の苗字、〈e〉親族など）について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

後期では、異文化の理解を具体的に試みるための例として、主に韓国や中国や台湾・漢族などの文化を取り上げて、人と文化の関わりについて検討します。韓国の人々の①結婚、②親族、親戚、③家族、④相続、⑤中国・台湾漢族の場合との比較、⑥韓国や台湾・漢族の女性、⑦祖先祭祀と死後結婚、⑧日本の場合との比較について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

履修上の留意点

しばしばレポートの提出を課します。

成績評価の方法

定期試験と課題レポートを総合して評価します。

教 科 書

教科書は特に指定しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕 —フレックスB開講—	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	放 選	4

社
会
分
野

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み (1)
3. 文化人類学の歩み (2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
6. 環境と人間 (2) 牧畜民
7. 環境と人間 (3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教 科 書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>	放選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と社会生活〕	わ ち けい いち 和 知 恵 一	放 選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪なのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

- (1) 法学
 1. 法学を学ぶにあたって
 2. 法とは何か
 3. 法の体系と分類
 4. 法の目的
 5. 法と裁判
 6. 裁判の基準（法源）
 7. 法の解釈
 8. 法と道徳をめぐる問題
- (2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う）
 9. 犯罪と刑罰
 10. 財産生活と法（人・物・契約など）
 11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
 12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
 13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教 科 書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
塩野宏等編『ポケット六法（平成17年版）』（有斐閣）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参 考 書 等

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

そ の 他

最初の講義日に受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と社会生活〕	ぬま た まさ ゆき 沼 田 雅 之	放 選	4

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につけることが必要です。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしてゆこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
- 2～3. 自由・独立・平等
- 4～5. 憲法の役割
- 6～7. 現代社会の人権
- 8～9. 契約社会と法
10. 不法行為責任
11. 消費者の保護
- 12～. 予備日

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 人の生・死と法
17. 司法制度改革と裁判員制度
18. 企業と法
19. 労働と法
20. 社会保障と法
21. 私的紛争とその解決
22. 国際社会と法
- 23～. 予備日

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的には後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教 科 書

教科書として次のものを指定します。プリント等は配布しません。各自テキストを用意してください。森泉章『法学（第3版）』（有斐閣）2,500円。

参 考 書 等

講義中に適宜指示いたします。

そ の 他

必ずしも教科書の構成どおりに講義を進行させませんので、注意してください。
水曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	放選	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
- (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
- (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容
- (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と権利〕	ぬま た まさ ゆき 沼 田 雅 之	放 選	4

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
- 2～3. 自由・独立・平等
- 4～5. 憲法の役割
- 6～7. 現代社会の人権
- 8～9. 契約社会と法
10. 不法行為責任
11. 消費者の保護
- 12～. 予備日

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 人の生・死と法
17. 司法制度改革と裁判員制度
18. 企業と法
19. 労働と法
20. 社会保障と法
21. 私的紛争とその解決
22. 国際社会と法
- 23～. 予備日

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的には後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書として次のものを指定します。プリント等は配布しません。各自テキストを用意してください。森泉章『法学（第3版）』（有斐閣）2,500円。

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

必ずしも教科書の構成どおりに講義を進行させませんので、注意してください。
水曜日・2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	さとう たみお 佐藤 多美夫	放選	4

講義のねらい

私たちは、社会の中で生活しているが、それは現代法の中で活動していることでもある。社会の仕組みや働きは、憲法を中心として刑法・民法・商法・労働法・経済法・行政法などの法によって規律されている。この講義は、政治・裁判・市民生活・経済・文化などの分野における現代法の原理や仕組みを把握しようと思う。私たちは法によって規律されているが、また、法を利用し法を制定・改廃するのも私たちである。この講義が、このような現代法の実態と諸問題を理解するために役立てればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 現代法の特徴
 1. 法とは何か
 2. 近代法の原理と展開
 3. 明治憲法から日本国憲法へ
 4. 日本国憲法の特徴
- II 政治機構と法
 5. 国民主権と政治権力
 6. 民主的統治の機構
 7. 権力分立の原理
 8. 地方自治の保障
 9. 政治からの自由
 10. 政治への参加
 11. 国際政治と国際法
 12. 国際政治と人権
- III 裁判と法
 13. 裁判の機能
 14. 司法権の独立
 15. 刑事裁判の原則
 16. 民事裁判の原則
 17. 行政訴訟と不服審査
 18. 憲法訴訟の問題
 19. 法と判例
- IV 刑事裁判と法
 20. 捜査過程における人権の尊重
 21. 自白の証拠能力
 22. 刑事手続と行政手続
 23. 公安条例と集団行動の自由
 24. 検閲と表現の自由
- V 市民と法
 25. 市民生活と法
 26. 財産法の原則
 27. 個人と法人
 28. 家族法
 29. 夫婦・親子・扶養
 30. 相続と法
 31. 市民法から社会法へ
- VI 文化と法
 32. 学問の自由
 33. 教育の自由
 34. 国家と宗教

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	につ た ひろ し 新 田 浩 司	放選	4

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|------|---------------|-------|-----------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第9回目 | 精神的自由権① |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第10回目 | 精神的自由権② |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第11回目 | 経済的自由権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第12回目 | 社会権 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第13回目 | 参政権、国家請求権 |
| 第6回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第14回目 | 統治機構① |
| 第7回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第15回目 | 統治機構② |
| 第8回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | | |

社会分野

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	お織 <small>お</small> 田 <small>だ</small> 晃 <small>てる</small> 子 <small>こ</small>	放選	4

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

『コンパクト六法』（岩波）
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と権利〕	しげ の たか はる 茂 野 隆 晴	放 選	4

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめと「家」制度について

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教 科 書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参 考 書 等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

そ の 他

授業の方法は講義です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 — 夏季集中 —	池田 実 <small>いけだ みのる</small>	放選	4

社会分野

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）平成17年4月刊行予定
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○	○	○
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○	○
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○	○	○
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○	○	○
8月5日	金						9月5日	月	○	○	○	○	○

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 —フレックスB開講—	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	放選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

社会分野

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕 —フレックスB開講—	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	放選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	はたなか たかし 島 中 貴	放選	4

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（マイクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に授業時に配布するプリントに沿って行う。スケジュールは以下の通り。
 (前期) (1) ガイダンス (2) 経済主体と市場 (3・4) 需要曲線、供給曲線
 (5・6) 価格および取引数量の変化 (7・8) 家計の経済活動 (9・10) 企業の経済活動 (11・12) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (13) 前期末試験
 (後期) (14) 独占 (15) 情報の不完全性 (16) GDPの3面等価 (17) 産出量の変動、物価水準の変動 (18・19) 完全雇用の状態におけるマクロモデル (20・21) 不完全雇用の状態におけるマクロモデル (22・23) 財政政策、金融政策 (24・25) 国際貿易 (26) 経済成長

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するためにはそれなりの労力と時間を必要とする。配布されたプリントを、期末の試験までに何度も読み返し、分からない部分については積極的に質問をすること。世界一頭のいい人であっても、プリントを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追・再試験は実施する。

教科書

教科書は使用しない予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	もり 森 田 せい や 成 也	放選	4

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本の条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

社
会
分
野

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- （1）はじめに （2）社会と経済 （3, 4）商品・貨幣 （5, 6, 7, 8）資本と剰余価値
（9）賃金 （10, 11）資本の蓄積 （12）利潤と利潤率 （13）利子生み資本と株式資本
（14, 15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義

（後期）日本経済の基本構造を学ぶ

- （17, 18）戦前の日本と戦後日本経済の発 現（19, 20）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （21, 22）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （23）低成長期以降の企業社会の肥大化 （24）企業社会と女性 （25, 26）経済大国日本とバブル経済
（27, 28）長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

教科書はとくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	佐藤綾野	放選	4

講義のねらい

本講義では、基礎的な経済理論をできる限り平易に解説し、また社会的に関心の高いトピックを多く取り上げ経済学の重要性を解説します。また学生の皆さんにも積極的に授業に参加してもらうことを希望します。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、「社会人の教養」として、あるいは「本格的な経済学へ向かう導入部分」となるよう、経済学全般にわたって解説します。

講義を進めるにあたり、経済学のなかの基本的なテクニカルタームの解説からはじめ、ニュースや新聞などで報道されているような具体的な経済現象を「経済学的視点」から考えていきます。

講義終了後には、学生の皆さんが現代経済事象に関心を持ち、自ら学ぶインセンティブをつけてもらうことを目標としています。

最後に、経済学は学生の皆さんの日常生活においても、とても役に立つ学問です。頑張ってください。

成績評価の方法

平常点・レポート・試験を中心に評価します。

教科書

第一回目の講義で指定します。

参考書等

講義のなかで適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕 —フレックスB開講—	みょうせまさはる 明瀬政治	放選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいます。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- (1) 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - (2) きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- (3) 結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎数学(前期)	くま さか 熊坂 さつき	放1必	2

講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。精密な画像解析も、数学的手法を使えば可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に応用されている数学の世界」にターゲットを絞って学ぶ。内容は、応用数学(後期)とリンクする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 微分と偏微分
 - ・微分係数、導関数の定義、偏微分係数、偏導関数の定義
 - ・有理関数、合成関数、三角関数、指数関数
 - ・対数関数の微分と偏微分
 - ・媒介変数と微分
 - ・高次導関数と高次偏導関数
 - ・連続関数と不連続関数
 - ・テイラーの定理と、テイラー展開 その他
2. 積分
 - ・不定積分と定積分
 - ・部分積分と置換積分
 - ・体積と面積
3. 三角関数
 - ・加法定理、和積・積和の公式等重要な公式の求め方と証明
 - ・三角方程式や三角関数の合成 その他

成績評価の方法

試験(1又は2回/年)、レポート

教科書

氏原真代『画像数学入門』(東洋書店)

参考書等

Paul C. Du Chatateau 著 Ordinary Differential Equations (Harper Perennial 社)
和達三樹『微分積分』(岩波書店)
数学Ⅲの教科書

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎物理学(前期)	北沢日出男・佐藤昌憲	放1必	2

講義のねらい

われわれを取り巻く自然環境の中で、いろいろな物体の運動や波動現象、熱現象、および電磁気現象に遭遇する。本講義では、これらの現象が物理学の基礎理論によってどのように理解されるかを学び、日々の生活の中で科学的にものを考える習慣を身につけることに重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 物体の運動とエネルギー
(速度、加速度、運動量、力、物体の運動、仕事、運動のエネルギー、保存量)
- (2) 温度と熱
(熱の正体、温度、圧力、物質の集合状態、仕事と熱量、熱の伝導、熱的過程)
- (3) 波動
(波のいろいろ、波の伝播、音波と光波の性質)
- (4) 電磁気学
電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力) 磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
- (5) 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。基礎物理学 A では、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学 B では、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法

基礎物理学 A・B の出席数、小テスト、定期試験により評価する。

教科書

基礎物理学 B: 『電気基礎上』(東京電機大学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎化学	原田和正	放1必	2

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 溶解度と溶解度積
7. 気体の状態方程式
8. 反応速度論
9. 化学熱力学

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

- A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に』(東京化学同人) 2,850円
 A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に-問題と解答-』(東京化学同人) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 命 科 学 (後期)	し 清 水 善 和 みず よし かず	放 1 選	1

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連続と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わったといえる。そこで、本講義では生物の進化（縦糸）と遺伝子（横糸）を二つのキーワードにして、現代生物学（生命科学）の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1章 生体を作る物質－炭素の恵み

- (1) 生元素
- (2) 有機物
- (3) 水
- (4) 生体高分子

第2章 遺伝子－情報を担う分子

- (1) 遺伝子の正体
- (2) タンパク質合成
- (3) 遺伝子とゲノム
- (4) 突然変異と進化

第3章 生命活動－化学反応の総和

- (1) 生命活動の見取り図
- (2) 酵素とATP
- (3) 発酵と呼吸
- (4) 光合成

第4章 細胞－生命の基本単位

- (1) 細胞の発見
- (2) 細胞小器官
- (3) 生体膜
- (4) 共生説

第5章 生命の起源－物質から生命へ

- (1) 自然発生説の否定
- (2) 化学進化
- (3) 生命の起源仮説
- (4) 初期の生命

第6章 発生－身体の作り方

- (1) 発生と遺伝子
- (2) 細胞系譜
- (3) クローンとES細胞
- (4) 個体発生と系統発生
- (5) ヒトの発育段階

第7章 神経と脳－身体の指令塔

- (1) ホルモンと神経
- (2) 情報伝達のしくみ
- (3) 脳の構造と働き
- (4) 神経ホルモンと心

第8章 免疫－自他の認識

- (1) 免疫と遺伝子
- (2) 免疫のネットワーク
- (3) 血液と血液型

第9章性と生殖－遺伝子のシャッフル

- (1) 遺伝子と染色体
- (2) 二つの細胞分裂
- (3) 性の決定様式

第10章遺伝－親子の絆

- (1) メンデルの法則
- (2) 遺伝病
- (3) 集団遺伝学の基礎

第11章人体－内なる自然

- (1) 細胞・組織・器官
- (2) 骨格系と筋肉系
- (3) 循環器系と呼吸器系
- (4) 消化器系と泌尿器系
- (5) ホメオスタシス

なお、半期科目なので、実際の講義では、上記内容の主要部分をピックアップして解説する。

自然分野

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席点（回数に比例）と試験の点数を合算して評価する。

教科書

講義の内容を文章で著わした「web 版教科書」（清水執筆）を紹介する。受講者は清水の HP より自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

web 版教科書で章ごとに紹介する。

その他

講義中に章ごとに必要な図表をまとめた補助教材のプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理技術（前期）	こん どう けい すけ 近藤 啓介	放1選	1

講義のねらい

情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成、卒業論文発表会で利用するプレゼンテーションソフトが使えるように演習形式で授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとは（ハードウェアとソフトウェア）
オペレーティングシステムとは
情報倫理
インターネットと電子メールの利用
MS-Word による文書作成・編集・数式作成・図の作成
MS-Excel による表計算・関数の利用・グラフの作成
MS-PowerPoint によるプレゼンテーション

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況・演習成績・レポート提出によって評価する。

教科書

入沢寿美・田中伸英・高林茂樹・高橋裕著、『インターネット時代の新情報活用』（サンウェイ出版）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学序論(前期)	佐藤 昌憲・北沢日出男	放1選	1

講義のねらい

高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力と運動
速度、加速度、運動の法則、エネルギー
2. 波動
波の性質、音波と光波、反射と屈折
3. 電気
電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則
4. 磁気
電流と磁場、電磁誘導、コイル

履修上の留意点

高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。物理学序論Aでは、力と波動を、物理学序論Bは、電気と磁気を中心に焦点をしぼり平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。

成績評価の方法

物理学序論A・Bの小テスト、定期試験により評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 序 論 (前期)	やまもと ゆう すけ 山 本 裕 右	放 1 選	1

講義のねらい

高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、「放射線写真学」および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身についていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容について演習を行いながら進める。

1. 物質とは
2. 元素と単体、化合物
3. 原子、分子、イオン
4. 電子配置
5. 化学結合
6. 化合物の名前
7. 化学方程式
8. 化学量論
9. 物質の量
10. 濃度の計算

履修上の留意点

高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法

平常の小テスト、定期試験で評価する。

教 科 書

- ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に—』（東京化学同人）2,993円
- ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に— 問題と解答』（東京化学同人）1,785円

参 考 書 等

- ・ 乾 他著、『改訂 化学—物質の構造、性質および反応—』（化学同人）2,520円
- ・ R.J.Ouellette 著（岩本他訳）『化学その基礎へのアプローチ』（東京化学同人）2,520円
- ・ P.W.Atkins 他著（千原他訳）『物理化学の基礎』（東京化学同人）3,570円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科学基礎論(前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- いままでは
- 1、生活の中の放射線（植物と放射線、食品中の放射性物質、食生活と人工放射能、海洋の放射能、病院での放射線など）
 - 2、21世紀を迎えて放射線診療の未来（IT革命が医療現場をどう変えていくのか?）
 - 3、医療被曝を考える（JCOの事故が及ぼした医療界への影響は?）
 - 4、企業に活躍の場を求める診療放射線技師（東芝メディカル、日本メジフィジックス、タイコ・ヘルスケア・ジャパン、GE横河メディカルシステム、シーメンス旭メディテック）
 - 5、スーパーテクノロジスト（放射線治療認定技師と医学物理士、マンモグラフィー検診制度中央委員会認定技師、X線CT検診専門技師など）についての資料を使用した。これら中かより新しいものを用いて行ない、放射線の種類や単位または人・団体・施設・機器・医療や診療放射線業務に関して講述する。

履修上の留意点

講義の内容などで分からないことがあれば気楽に質問をして、診療放射線技術学に親しみを持つようになること。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

自然分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科学基礎論(前期)	くま さか 熊 坂 さつき	放1選	1

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・スライドやビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・スライドやビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・X線写真を用いて、それをトレースし、X線解剖学について学ぶ。

履修上の留意点

小テストなど授業時間内の学習状況により評価する。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない
プリントを配布する

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論(前期)	佐藤昌憲	放1選	1

講義のねらい

学生諸君が今後の学習や学問の研究、進路、自己形成のために役に立つテーマを提供しようというのが基本的なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

少人数のゼミ方式で、テーマの参考文献や資料の集め方、分析の仕方、論理的な考え方パソコンの使い方などを具体的に教え、学生自身が理工学の専門分野をどの様に学んでいくか、そのプロセスを学習する。

具体的には、レポート作成と討論を行う。その際に

1. 分類方法、2. 過程の表現方法、3. 対比・比較の仕方、4. 原因・影響の関係について、5. 主題の相互作用の書き方等を体系的に学習する。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生を望む。

成績評価の方法

学習状況とレポートと出席などにより評価する。

教科書

使用しない。

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論(前期)	近藤啓介	放1選	1

講義のねらい

新入生諸君の多くは受身による知識を蓄積する学習をしてきた。大学においても、より高度な知識を習得することは重要である。将来医療人としての道を進むことになるが、単に言われた仕事を淡々とこなすだけの人間ではなく、医療チームの一員として積極的に取り組むための知識と論理的な考察力を養ってほしい。

この授業では、未知なる現象や問題を提示しながら、今までの知識を駆使して、課題に取り組み、創造力を発揮して問題を解決してもらおう。単なる結果だけでなく結果を導く過程である「論理的な考え方」を中心に学習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テーマを与え、それに関する自分の考えをまとめ、発表・討論を行う。

履修上の留意点

テーマには答えが複数あるものや、答えのないものもある。結果が正しいか否かではなく、結果を導くための過程を大事にして、何故その結果に至ったのか自分なりの考え方をまとめ討論すること。

成績評価の方法

レポートや討論の参加状況により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論(前期)	やまもと ゆうすけ 山本裕右	放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。また、パソコンを使っての数値計算も随所で行う。

1. 原子とは
2. 原子の中の電子
3. 安定同位体と放射性同位体
4. 放射能とは
5. 放射線とは
6. エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する

参考書等

授業時間中に指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学基礎論(前期)	よし かわ こうき 吉川宏起	放1選	1

講義のねらい

1. 科学的思考の基礎を身につける。2. 生活習慣病を中心としたヒトの疾病(疾患)の原因とその治療法を通じてエビデンスに基づいた医療の成り立ちを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 科学論文の引用の仕方、読み方、書き方の基礎的事項について概説する。2. 糖尿病や虚血性心疾患、脳血管障害などの生活習慣病の成り立ちとその予防法や治療法を通じて、医療におけるエビデンスの重要性について概説する。

履修上の留意点

科学論文の重要性と医療におけるエビデンスを導く臨床研究法を理解する。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D.M.	放選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university -level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか ぎき としちろう 岡 崎 寿一郎	放 選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	放 選	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるもの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教 科 書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参 考 書 等

参考書はその都度列挙する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あき と 林 明 人	放 選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむらゆうこ 西村 祐子	放選	4

講義のねらい

アメリカのNPO,NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について

後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO
 日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場にて指定。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸 小 哲 雄	放選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にタームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける〈主体性〉のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教科書

読書リスト配布
 プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

總
合
分
野

3. 外 国 語 科 目

外國語科目

3 . 外国語科目

《必修科目》

英語	I	A	〈町田尚子〉	81
英語	I	A	〈桧山晋〉	81
英語	I	B	〈町田尚子〉	82
英語	I	B	〈桧山晋〉	82
英語	II	A	〈吉川直澄〉	83
英語	II	A	〈西田義和〉	83

《再履修クラス》

英語 I A	〔再クラス〕	〈松堂啓子〉	84
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩井洋美〉	84
英語 I A	〔再クラス〕	〈朝川真紀〉	84
英語 I A	〔再クラス〕	〈塙美智子〉	85
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江正雄〉	85
英語 I A	〔再クラス〕	〈西村祐子〉	86
英語 I A	〔再クラス〕	〈外池一子〉	86
英語 I A	〔再クラス〕	〈高柳文江〉	87
英語 I A	〔再クラス〕	〈桧山晋〉	87
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩原康夫〉	87
英語 I A	〔再クラス〕	〈丸小哲雄〉	88
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊沢和明〉	88
英語 I B	〔再クラス〕	〈木村克彦〉	88
英語 I B	〔再クラス〕	〈江田幸子〉	89
英語 I B	〔再クラス〕	〈牧野正秀〉	89
英語 I B	〔再クラス〕	〈石原孝哉〉	89
英語 I B	〔再クラス〕	〈真砂久晃〉	90
英語 I B	〔再クラス〕	〈高柳文江〉	90
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊沢和明〉	90
英語 I B	〔再クラス〕	〈近藤真彰〉	91
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯沼好永〉	91
英語 II A	〔再クラス〕	〈菅原典子〉	91
英語 II A	〔再クラス〕	〈太田美智子〉	92
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎寿一郎〉	92
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤江里子〉	92
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎寿一郎〉	93
英語 II A	〔再クラス〕	〈塚本利男〉	93
英語 II A	〔再クラス〕	〈太田由紀子〉	93
英語 II A	〔再クラス〕	〈矢島直子〉	94
英語 II A	〔再クラス〕	〈相馬美明〉	94
英語 II A	〔再クラス〕	〈川島弘之〉	94
英語 II A	〔再クラス〕	〈町田尚子〉	95
英語 II A	〔再クラス〕	〈三浦真理〉	95
英語 II A	〔再クラス〕	〈山岸二郎〉	96

《 選 択 科 目 》

ドイツ語	I	A (選)	〈五十嵐 信子〉	97
ドイツ語	I	B (選)	〈薮 下 紘 一〉	97
英 会 話		I	〈ウエルズ, J. K.〉	98
英 会 話		I	〈ソルタ, P. N. F.〉	99
英 会 話		I	〈ピアス, D. M.〉	100
英 会 話		I	〈ラッセル, S. J.〉	101
英 会 話		I	〈ラージ, R.〉	102
英 会 話		I	〈レーン, C. M.〉	103
英 会 話		II	〈ラッセル, S. J.〉	104
英 会 話		II	〈レーン, C. M.〉	105
英会話	II	一夏季集中一	〈ピアス, D. M.〉	106
英 語	L	L	I 〈太 田 雅 子〉	107
英 語	L	L	I 〈甲 斐 捷 子〉	107
英 語	L	L	I 〈加 藤 佐和子〉	108
英 語	L	L	I 〈久 保 ひさ子〉	108
英 語	L	L	I 〈西 村 祐 子〉	109
英 語	L	L	I 〈埴 美智子〉	109
英 語	L	L	II 〈太 田 雅 子〉	110
英 語	L	L	II 〈外 池 一 子〉	110
英 語	L	L	II 〈西 村 祐 子〉	111

《必修科目》

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	まち だ なお こ 町 田 尚 子	放1必	2

講義のねらい

科学および医療・健康に関する英語語彙と表現が聞き取れ、記述できるようオーディオ教材を使用した授業です。

講義の内容・授業スケジュール

毎授業ごとに、はじめにテストをし、解答を回収後、理解の確認と疑問点等の説明をします。

履修上の留意点

予習して出席することが前提の語学授業です。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認してください。

成績評価の方法

毎授業のテスト成績、課題担当発表、定期試験成績を同等に評価します。欠席が多いと毎授業のテスト、課題担当発表の平常点成績が評価されなくなり、単位取得が困難となるので注意してください。

教 科 書

使用教科書は教場で指示する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ひ やま すずむ 桧 山 晋	放1必	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。

教 科 書

第一回目の授業で指示。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まち だ なお こ 町 田 尚 子	放1必	2

講義のねらい

科学および医療・健康に関する英文記事を読みこなせることをねらいとする授業です。教材は海外の英語新聞、雑誌、BBC 及び Nature のウェブサイトから選びます。

講義の内容・授業スケジュール

第一回の授業で英語新聞記事・雑誌特集記事の英語と英文スタイルの特徴、理解の手引きを講義します。その後は、毎授業ごとに担当者に記事内容の要旨を発表してもらいます。

履修上の留意点

教材は前もって渡します。予習が授業出席の前提です。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメールで連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項は KOSY の講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認すること。

成績評価の方法

授業で担当する記事等の要旨発表の評価、予習の有無を平常点評価とし、定期試験成績と同等の扱いをします。欠席が多いと平常点評価が低くなり、単位取得が困難となるので注意してください。

教 科 書

プリント教材及びウェブサイトのダウンロード表示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ひ やま すずむ 檢 山 晋	放1必	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。

教 科 書

第一回目の授業で指示。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	吉川直澄 <small>きつかわ なお ずみ</small>	放2必	2

講義のねらい

英語 I A を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属の CD は聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

Expanding Tactics for Listening Test Booklet with CD, (Oxford)
ISBN0-19-438836-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	西田義和 <small>にしだ よしかず</small>	放2必	2

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。この授業ではこうした観点から全部(前期・後期)で18章からなっている英語の構造を用いて英文和訳、和文英訳等を行うことにより学習の徹底をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて毎時間多くの学生にやってもらい、その後説明を補足し、また予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

履修上の留意点

予習や復習は必ずして下さい。また、辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は、三分の二以上の出席を前提とする。

教 科 書

4月の開講時に指示する。

《再履修クラス》

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	まつ とう ひろ こ 松 堂 啓 子	放2・3年	2

講義のねらい 基礎的な文法事項を確認しながら、表現力を高めていく。

履修上の留意点 出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法 出席状況・小テスト・定期試験の結果を総合的に評価する。

教科書 *English for your Future 1* (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-483-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美	放2・3年	2

講義のねらい 日常的な表現を用いて意志伝達できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール テキストの質疑応答、聞き取り、英作文を含む練習問題を行ないながら日常的な表現を覚え、自分のことを伝えることができますようにします。期末試験の他に前、後期数回の小テストも行ないます。

履修上の留意点 出席と熱心に取り組む姿勢を重視します。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

成績評価の方法 前、後期試験、小テスト、発表、出席を総合して評価します。

教科書 『NEW CROSSROADS 学んで楽しい会話作文』(マクミラン・ランゲージハウス)
2,100円 ISBN4-7773-6026-1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	あさ がわ ま き 朝 川 真 紀	放2・3年	2

講義のねらい 英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 映画の SCRIPT に焦点をあて、そこで使われている実用的なフレーズを習得し、映画の内容に関してディスカッションを行います。

履修上の留意点 予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法 平常点、課題、定期試験を総合的に評価します。

教科書 『映画英語ワークショップ—漆塗り英語学習法で伸ばす総合運用能力—』(朝日出版社)
1,700円 ISBN4-255-15400-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子	放2・3年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Effective reading & listening—Learning About Different Cultures— 読解・聴解のための効果的学習ブック』（松柏社）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え 正 雄	放2・3年	2

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりと日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。

教科書

H.G.Wells 著『A Short History of the World（ウェールズの簡約世界史）』（こびあん書房）教室で販売する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西村祐子	放2・3年	2

講義のねらい	基本的な英語の文章の聞き取りと基本的な英作文ができる訓練をコンピュータを使用して行う。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：聞き取り訓練 CD-Rom の英語会話を聞きながら質問に答える形式で英語を学んでいく。 9-12月：作文訓練 作文の教科書を用いて、基本的な表現を学んでいく。英作文では実際にクラスの中でコンピュータでタイプしながら表現を学ぶ作業を中心にする。
履修上の留意点	コンピュータ ID を必ず事前に習得しておくこと。MS ワードを使うのでタイピングに慣れておくこと。
成績評価の方法	平常点による。
教科書	教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのいけかずこ 外池一子	放2・3年	2

講義のねらい	日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	授業はテキストに沿って進めます。
履修上の留意点	予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	高柳文江 <small>たかやなぎふみえ</small>	放2・3年	2

講義のねらい

この授業においては、自分の思っていることを英語で如何に表現するかを、Writing だけでなく、Speaking 両面から出来るように成ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんが度々出くわす様々な状況で自分の思っていることをどのように表現していくか、教科書の会話を通じて学びます。導入はListeningとSpeakingにより行われますが、あくまでもWritingに重点が置かれます。演習問題を中心にWritingは行われますがその問題に関する文法的な点にも及んで説明がなされます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。単位を取るためには、2 / 3 以上の出席が課されます。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験） 60%
平常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み） 40%

教科書

“From Writing to Speaking”[作文から会話へ] 羽鳥博愛著
弓プレス ISBN4-8034-1128-X

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	山 晋 <small>ひやますすむ</small>	放2・3年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	岩原康夫 <small>いわはらやすお</small>	放2・3年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2,000円 ISBN4-255-15280-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	放 2・3 年	2

講義のねらい

基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総理解解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト：The Compact Culture (英宝社)
リスニング・サブテキスト：Listening closer to English (英宝社)

参 考 書 等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	放 2・3 年	2

講義のねらい

平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけると同時に、会話形式の表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングおよび会話表現を習得するためのペアワークも行います。

履修上の留意点

語学トレーニングの科目なので積極的な参加姿勢を求められます。

成績評価の方法

平常点重視。ただし毎週単語の小テスト。年2回の期末試験を実施します。

教 科 書

Why Is That? (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	き むら かつ ひこ 木 村 克 彦	放 2・3 年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教 科 書

『アクティブ・リーディング』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	放2・3年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

映画英語教育学会九州支部著『Every Movie Tells a Story：映画が語る現代社会』1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	牧野 正秀	放2・3年	2

講義のねらい

再履修クラス故に過去において何らかの理由より、単位を修得できなかった人たちと思う。いかなる理由によりこのクラスに参加するにせよ、真面目に授業に取り組んでほしい。その上で、基本的な英語の再確認、再復習を重ね基礎の習得をねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業は講義ではなく演習が中心なので、指名されたら必ず積極的に発表して下さい。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加してください。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。

成績評価の方法

授業中の発表や予習の度合いといった平常点に、前、後期の試験結果を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原 孝哉	放2・3年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。

教科書

The Whole Story (南雲堂フェニックス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まなご ひさあき 真 砂 久 晃	放2・3年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

A Guide to Effective Reading (金星堂) 1,900円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみえ 高 柳 文 江	放2・3年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業ではReadingだけでなくListeningにも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験 (前期試験、後期試験) 60%、日常点 (出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等) 40%。

教科書

第1回の授業において発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	くま さわ かずあき 熊 沢 和 明	放2・3年	2

講義のねらい

平易な英文 (手紙形式) を読んで、基本的な読解力を身につけた上で、同時に会話表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

訳読だけでなく、リスニング、ペアワークなどを含んだトレーニングの方式となります。

履修上の留意点

毎回の出席と参加を求めます。メールを利用した指導も対応します。

成績評価の方法

総合評価。単語小テスト、年2回の期末試験実施。

教科書

Why Is That? (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	近藤 眞 彰	放2・3年	2

講義のねらい

時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力をつけながら、その内容について意見が述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼 好 永	放2・3年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

Reading Landmarks of the world（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	菅原 典 子	放3年	2

講義のねらい

ウィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。

履修上の留意点

授業は予習をしてください。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

L. A. Hill, 安藤賢一 *Witty Tales—Readings and Exercises—*（成美堂）1,680円（税込）
ISBN4-7919-4032-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお たち みちこ 太田美智子	放3年	2

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書 *Say It In Song* (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おか ぎき としいちろう 岡崎寿一郎	放3年	2

講義のねらい 語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点 テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法 平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教科書 長谷川潔 編注『ことばのはじめ』(金星堂) 1,400円

その他 月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐藤江里子	放3年	2

講義の内容・授業スケジュール テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書 教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おかざきとしちろう 岡崎 寿一郎	放3年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	つかもととしお 塚本 利男	放3年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で1Unit（3～4ページ）を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など）で小論文を書いて提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円＋税
ISBN4-7919-5037-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおたゆきこ 太田 由紀子	放3年	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろな英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99
ISBN: 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子	放3年	2

講義のねらい 教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。

履修上の留意点 毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分かるようにしてから、授業に出席して下さい。

成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書 最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	相馬美明	放3年	2

講義の内容・授業スケジュール I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC、TOEFLのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法 出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書 開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川島弘之	放3年	2

講義のねらい 英語を楽しんでもらうことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点 他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法 他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書 『ロックの心』(大修館書店) 1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他 DVDの映像を使用する。

参考書等 『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
『ロックの意味』(草思社)
『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

その他 DVDの映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	まち だ なお こ 町 田 尚 子	放3年	2

講義のねらい

英語ⅡAの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語での意思疎通を習得します。英文メールの書き方を手はじめとする予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向を、アンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を定める予定です。

履修上の留意点

プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法

授業中の小テスト、質問への解答成績を平常点とし、中間・定期試験の成績と同等の扱いとして成績評価点数を出します

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	放3年	2

講義のねらい

英文によって異文化理解、コミュニケーション論等を題材にした英文を読み、国際ビジネスにおける習慣やマナー、エチケット等を身につけ、実践的なビジネス英語を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進め、基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指します。また、実践的なビジネス会話の聞き取りをおこないます。

履修上の留意点

受験は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

Global Understanding Success in International Business (成美堂) 1,785円
ISBN4-7919-4066-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	放 3 年	2

講義のねらい

ひとつのまとまった考えや意見を英文で表現できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目標達成のために、比較的短い英文を、語順に注意しながらある程度の量を学習し、同時に文法事項の整理を行なう。ここで行なう短文の学習量が、パラグラフ・ライティングの質を左右することになる。

履修上の留意点

予習を欠かさない。予習範囲内の小テストも行なう。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト及びテスト等総合的に評価する。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

教室で紹介する。

《選択科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	い がらし のぶ 五十嵐 信子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかり理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

はじめてドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J.K.	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1 st semester will be question and answer, while the 2 nd semester will be role playing activities.

講義の内容・授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P.N.F.	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: book 1 a / David Paul / Macmillan Language House, 1,230円
ISBN0-435-26119-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D.M.	放1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	ラッセル, S.J.	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

English ConversationIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Fifty - Fifty Book 1 ISBN0 - 13 - 920000 - 2 (Published by Longman)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・
授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

- I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
- II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レーン, C.M.	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students

Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ラッセル, S.J.	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Within Your Reach: Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C.M.	放2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. Students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D.M.	放2・3・4選	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

その他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半						後半						
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月				

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I A の振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	^お 太 ^た 田 ^ま 雅 ^こ 子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	^か 甲 ^い 斐 ^{かつ} 捷 ^こ 子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English20』（英進社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

現地で、一人で、病院に行って、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病气や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむらゆうこ 西村祐子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。

9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略をMSワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわみちこ 埴美智子	放1・2・3・4選	2

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills—生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まさ こ 太 田 雅 子	放 2・3・4 選	2

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	放 2・3・4 選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

英語 LL I を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初めにテストを行いますから必ず出席してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	放2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢のコンピュータIDを取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

外国語科目

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ゴルフ) 〈三 幣 晴 三〉	117
健康・スポーツ実習 (室内球技) 〈山 口 良 博〉	118
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技) 〈田中 佳孝・長濱 友雄〉	119
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技) 〈鈴 木 淳 平〉	120
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング) 〈秋 田 浩 一〉	120
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓 球) 〈川村 正義・山口 良博〉	121
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン) 〈牧 野 茂〉	122
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール) 〈高橋 俊介・村松 誠〉	123
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技) 〈鈴 木 淳 平〉	124
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング&太極拳) 〈光 永 吉 輝〉	125
保 健 理 論 〈吉 田 稔〉	126

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	み ね 幣 はる み	放1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	放1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	田中 佳孝・長濱 友雄 <small>ななか よしたか ながはま ともお</small>	放2・3年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃 (ゲーム)
- 6 時限目：〃 (ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃 (ゲーム)
- 13 時限目：〃 (ゲーム)
- 14 時限目：〃 (ゲーム)
- 15 時限目：〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	すずき じゆん へい 鈴 木 淳 平	放 2・3 年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	放 2・3 年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(卓球)	<small>かわむら ままよし やまぐち よしひろ</small> 川村 正義・山口 良博	放2・3年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	放2・3年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川体育館
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	放2・3年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	放2・3年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種目を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。
- (2) 実施時間：10:00～12:00 (昼食・休憩) 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館他
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつ <small>なが</small> よし <small>てる</small> 光 永 吉 輝	放 2・3 年	2

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定 |
| | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定 |
| | 午後 | 第一組、第二組(3式) |
| 3日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式) |
| 4日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定 |
| | 午後 | 総合(1~11式)、テスト |

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

そ の 他

- 再クラス、集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)~21日(木)
(後期) 12月21日(水)~25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：午前10:00~12:00
午後13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 理 論 (前期)	よし だ みのる 吉 田 稔	放 1 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好 (well-being) な状態であって、単に病気に罹患してないとか、病的ではないということではない」。これは WHO 憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

成績評価の方法

総括的評価は認知領域 (知識) については論述試験と客観試験を定期試験の時にを行い、情意領域 (態度・習慣) については出欠および授業中の態度で評価を行う。形成的評価については、授業中に小テストを行い、その結果を学生にフィードバックする。

教 科 書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』(改訂7版) (南江堂) 2,400円

参 考 書 等

『国民衛生の動向』厚生指標 臨時増刊 (厚生統計協会)

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

II. 専門教育科目

解剖学	〈蜂屋順一〉	131
環境保健医学	〈吉田稔〉	131
電気工学	〈佐藤昌憲〉	132
放射線物理学	〈小山正希〉	132
診療画像技術学概論	〈西尾誠示〉	133
放射線機器概論	〈氏家盛通〉	134
放射線写真学	〈古川克治〉	135
応用数学	〈野口勝〉	136
診療画像技術学実験	〈西尾誠示・熊坂さつき・長谷川武・原昌代・三浦康平〉	137
医用物理学実験	〈佐藤昌憲・奥山康男・金子順一・小林久夫・森啓〉	138
医用化学実験	〈山本裕右・榎尾英次・原田和正・三木瑛一・村上雅彦〉	139
医学概論	〈吉川宏起〉	140
臨床医学概論	〈吉川宏起〉	140
生理学	〈樋口雄三〉	141
病理学	〈蜂屋順一〉	141
生化学	〈原田和正〉	141
電子工学	〈金子順一〉	142
原子核物理学	〈永井喜則〉	142
放射化学	〈山本裕右〉	143
放射線生物学	〈早川吉彦〉	144
放射線計測学	〈青木清〉	145
診療画像技術学	〈西尾誠示〉	146
放射線機器工学	〈奥山康男〉	146
画像工学概論	〈野口勝〉	147
医用画像工学	〈榎尾英次〉	148
画像数学	〈志村一男〉	148
画像検査技術学基礎実習	〈西尾誠示・氏家盛通・谷口貴久・原昌代・吉川達生〉	149
電気電子工学実験	〈杉田徹・青木清・金子順一・川副護・吉田正廣〉	150
放射線機器工学実験	〈榎尾英次・奥山康男・羽生毅・原昌代〉	151
画像解剖学	〈蜂屋順一〉	151
画像診断技術学Ⅰ	〈吉川宏起〉	152
放射線医学概論	〈蜂屋順一〉	152
医学英語	〈吉川宏起〉	152
医用検査学	〈奥山康男〉	153
診療画像情報学Ⅰ	〈西尾誠示〉	153
画像診断機器工学	〈榎尾英次〉	154
救急医療学	〈奥山康男〉	154
臨床医療人間学Ⅰ	〈奥山康男〉	155
核医学	〈氏家盛通〉	155
応用計測学	〈小山正希〉	156
放射線腫瘍学	〈高山誠〉	156
応用機器工学	〈榎尾英次〉	157
画像工学Ⅰ	〈高野正雄〉	158
画像工学Ⅱ	〈高野正雄〉	158
画像処理言語論	〈近藤啓介〉	159

放射線関係法規	〈青木 清〉	159
放射線管理学	〈青木 清〉	160
技術英語	〈高橋 優身〉	160
画像工学実験	〈高野正雄・大谷克彦・近藤啓介・野口勝・俣野公志〉	161
放射線治療技術学実験	〈小山正希・佐藤昌憲・高城保・羽生毅・原昌代〉	162
放射線管理学実験	〈青木清・金子順一・杉田徹・永井喜則〉	162
核医学検査技術学基礎実習	〈山本裕右・氏家盛通・小林久夫・原田和正・村上雅彦〉	163
画像検査技術学実習	〈蜂屋順一・奥山康男・西尾誠示・原昌代〉	163
計算機言語論	〈近藤 啓介〉	164
医療宗教学	〈田上 太秀〉	164
医療経済学	〈永山 くに子〉	165
医療統計学	〈休 講〉	
量子論	〈休 講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
解剖学(後期)	はちや じゅんいち 蜂屋 順一	放1必	2

講義のねらい

解剖学は人体の正常な形態と構造を研究する学問であり、現代医学を理解するうえで最も基礎となる重要な分野である。その要点を確実に習得する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

骨格系、筋系、脈管系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系、発生学に分けて系統的に学習する。

履修上の留意点

広範囲にわたり詳細な知識を積み上げる過程では、教科書の十分な予習、復習が肝要となる。

成績評価の方法

定期試験

教科書

藤田恒夫著『入門人体解剖学』(南江堂) 5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境保健医学(後期)	よしだ のりこ 吉田 稔	放1必	1

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

成績評価の方法

総括的評価は認知領域(知識)については論述試験と客観試験を定期試験の時にを行い、情意領域(態度・習慣)については出欠および授業中の態度で評価を行う。形成的評価については、授業中に小テストを行い、その結果を学生にフィードバックする。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版(南江堂) 2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』(厚生省の指標 臨時増刊) 厚生統計協会
厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)
環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

科目名	担当者名	配当学科	単位
電気工学(後期)	佐藤昌憲	放1必	2

講義のねらい

交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1) 交流回路の基礎 | 2) 交流の平均値・実効値 |
| 3) 正弦波交流の基本回路 | 4) 交流の直列回路 |
| 5) 交流の並列回路 | 6) 交流の電力 |
| 7) 複素数とベクトル | 8) 交流回路の計算 |
| 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算 | 10) 三相交流の基礎 |
| 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係 | 12) 三相交流の電力と力率 |
| 13) 平衡三相交流回路の計算 | 14) 電気計測(電圧・電流・電力の測定) |
| 15) 変圧器の基礎 | |

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

- 『新電気基礎問題集』(綜文館)
『電気基礎下』(東京電機大学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線物理学	小山正希	放1必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線(ここでは主として光子)と物質との相互作用を中心として、最も多用されているX線について発生機構を含めて、作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- | | |
|---|------------------|
| 1) 放射線・放射能の定義と概念。 | 2) 放射線の種類と分類。 |
| 3) 光子(X線・γ線)の粒子性。 | 4) 光電効果(光量子の概念)。 |
| 5) 原子の構造・粒子の波動性。 | 6) X線回折・ブラッグ反射。 |
| 7) 軌道電子のエネルギー準位。 | 8) 輝線スペクトル。 |
| 9) 制動X線・特性X線の発生機構。 | 10) X線の線質。 |
| 11) 光子と物質との相互作用(光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など)。 | |
| 12) 吸収端現象とその応用。 | |
| 13) 電子と物質との相互作用(電離・励起・制動輻射・チエレンコフ輻射など)。 | |
| 14) 光子の減弱(吸収係数・再生係数・平均自由行程など)。 | |
| 15) 電子の飛程。 | 16) 放射線の単位。 |

X線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習するX線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用にあると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

成績評価の方法

定期試験の他、2~3回行う中間試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、主たる講義内容はプリントを配布する。

その他

授業の映像および毎時間ごとの内容が学内LANにより、また自宅からも復習できる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療画像技術学概論(後期)	にし 西 尾 誠 示	放 1 必	2

講義のねらい

医療の場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項、及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となる X 線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 医療社会と放射線技師
医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- (2) 放射線技師の役割と医療人の条件
社会における診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- (3) X 線撮影の基礎
X 線の発生、線質、減弱、物質との相互作用、写真効果などについて
- (4) X 線画像の成り立ち
X 線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重畳効果など
- (5) 画質の基礎知識
画質を評価するときの対象となるコントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- (6) 良い画像と画質を左右する要因
管電圧、フィルター、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- (7) 撮影条件の設定と考え方
最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
- (8) 体の基準線と名称
医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について
- (9) 単純撮影について
単純撮影および特殊撮影の基礎を学ぶ
- (10) 造影検査について
造影剤を用いた画像検査について基礎を学ぶ

履修上の留意点

講義用の Power Point に要点を示してあるので、ノートに取ること。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、学習意欲も採点に加える。

教 科 書

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円

参 考 書 等

講義用 CD 及びプリント

そ の 他

授業中に質問あるいは意見を求める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線機器概論（前期）	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	放1必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- (2) 一般撮影装置：X 線装置・X 線発生装置、X 線制御装置。
- (3) X 線源装置：X 線用高電圧ケーブル、X 線高電圧発生装置、電源設備。
- (4) X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- (5) 関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- (6) 診断用 X 線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- (7) 特殊 X 線装置：乳房用 X 線装置、泌尿器・婦人科系 X 線装置、乳幼児撮影装置。
- (8) X 線断層撮影装置：X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法・立体撮影法。
- (9) 循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置、X 線シネ装置と関連機器。
- (10) X 線 CT 装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X 線 CT 走査方式。
- (11) X 線 CT 検出器：寝台、X 線発生装置、X 線管、コンピュータシステム。
- (12) X 線 CT 装置の特徴：スリップリング方式、画像記録装置、画像記憶・表示装置。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な X 線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教 科 書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,004円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 写 真 学 (後 期)	ふる かわ かつ はる 古 川 克 治	放 1 必	1

講義のねらい

画像診断の基をなす医用画像は湿式 (Wet) から乾式 (Dry)、さらにはフィルムレス診断へと大きく変化しつつある。

- ①スクリーン／フィルム系、dry 系感光材料の感光理論、現像処理、画像評価。
- ② Digital 画像の成り立ちと画像処理、保管・管理等の概論
- ③医用画像と廃棄物、環境問題。

これらに関し講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容

- ① S/F 系感光材料；感光理論、現像理論、画質評価
- ② X 線写真の成り立ちと各種 X 線センサーの特性
- ③ X 線画像の評価；センチメトリーと画質特性 (含む digital)
- ④ Digital 画像の形成；画像処理、画像評価と保管・管理
- ⑤ Dry 感材の画像形成と画像特性
- ⑥ 医用画像と廃棄物；種々の法令と環境問題への対処スケジュール

上記内容に沿って H. 17/9～12迄、約13回で実施。

履修上の留意点

- ①ミニテストやレポート提出を期中数回実施する。
- ②教科書、参考文献、PC、臨床写真等で理解を深める。
- ③各種写真 (基礎実験、臨床) を供覧、理論と実際を習得する。

成績評価の方法

期末試験を重視。ミニテストや出席等も参考に最終評価する。
追試は行いが、再試は「無」。

教 科 書

『放射線写真学』(富士フィルムメディカル株) 5,700円

参 考 書 等

- ①日本写真学会編『改訂 写真工学の基礎 [銀塩写真編]』(コロナ社)
- ②友田宜忠著『写真の科学』(通商産業研究社)
- ③笹井明『写真の化学』(写真工業出版社)
- ④内田勝『放射線画像情報工学』(通商産業研究社)
- ⑤ T.H.James *The Theory of the Photographic Process, 4th Ed.* (Macmillan Co.)
- ⑥ T.S.Curry et al *Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology*, (Lea & Febiger '84)
- ⑦日本医用画像工学会監修『医用画像工学ハンドブック』
- ⑧環境法研究会編『環境六法 平成15年版』(中央法規)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 数 学 (後 期)	の ^{ぐち} 野 ^{まさる} 口 勝	放 1 必	2

講義のねらい

診療放射線科学コースおよび画像技術科学コースの専門科目で必要となる基本的な数学を理解し、その応用力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

微分・積分、ベクトル・行列式、確率・統計、微分方程式、複素変数の関数などについて学ぶ。各々の数学の数式的取り扱いだけでなく、それらが科学技術とどのように関連し、どのように応用されるかを常に意識して学習を進める。そのため、身近な事象に関係した問題の演習を行って理解を深める。

履修上の留意点

毎回の演習を通して、学んだことをその日のうちに理解するよう努力して欲しい。

成績評価の方法

定期試験、レポートの総合点。

教 科 書

矢野・石原『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

参 考 書 等

必要に応じて資料を配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療画像技術学実験 (前期)(後期)	にしお せいじ・くまざか さつき 西尾 誠示・熊坂 さつき はしがわ たけし・はら 昌代 長谷川 武・原 昌代 みうら こうへい 三浦 康平	放1必	1

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) X線量と写真濃度
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- (2) 撮影条件表の作成
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- (3) 照射野の線量分布と撮影距離
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- (4) フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。
- (5) 撮影電圧とコントラスト
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- (6) 増感紙の感度
フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。
- (7) フィルム・増感紙の鮮鋭度／解像力
矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。
- (8) 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- (9) グリッドの性能評価
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。
実験マニュアルを事前によく読んで、内容を把握しておくこと。

成績評価の方法

定期試験、実技試験、学習意欲、レポートについて総合的に判定する。
但し、レポートの未提出者は受験資格がないので注意するように。

教 科 書

実験マニュアルを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医用物理学実験 (前期)(後期)	<small>きどう</small> 佐藤 <small>まさのり</small> 昌憲・ <small>おくやま</small> 奥山 <small>やすお</small> 康男 <small>かねこ</small> 金子 <small>じゆんいち</small> 順一・ <small>こばやし</small> 小林 <small>ひさお</small> 久夫 <small>もり</small> 森 <small>あきう</small> 啓	放1必	1

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の学習をする。後半はデーターを処理する方法の実験をする。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個々によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けスケジュールを発表する。

1. ガイダンス
2. 放射線実験室の立ち入り方
3. パソコンによるレポート作成法
4. 直流回路（電界）
5. 交流回路（磁界）
6. Excel 関数の使用法
7. 計測に関する統計と誤差
8. GM 計数管のプラトーの測定
9. サーベイメータの使い方
10. 電離箱の平衡厚測定
11. X線の実効エネルギーの算定
12. NaI シンチレーションカウンタの使用法

成績評価の方法

1. レポート
2. 実験
3. 質疑応答
4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教 科 書

実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医用化学実験 (前期)(後期)	山本 裕石・榎尾 英次 原田 和正・三木 瑛一 村上 雅彦	放1必	1

講義のねらい

医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができるし、また、得られた実験結果に伴う誤差には原因があり、その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
5. 中和滴定による酸の定量
6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
7. 分子模型実習
8. pHメータによる緩衝能の測定
9. 硫酸銅(Ⅱ)五水和物の合成
10. ヨウ素滴定による銅(Ⅱ)の定量
11. δ -フェナントロリン法による鉄(Ⅱ)の比色分析
12. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- ・欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくる：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作成し、使用する薬品の性質、器具の使用方法について下調べをしておく。
- ・実験室内での規則を守る：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリント使用。

参考書等

新版『実験を安全に行うために—事故・災害防止編』(化学同人) 840円
 新版『(統) 実験を安全に行うために—基本操作・基本測定編』(化学同人) 735円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学概論(前期)	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	放2必	2

講義のねらい

現代医学で行われている実際の医療について幅広く理解し、その中での放射線医学の役割について理解する。さらに医療従事者として必要な人権を尊重した医療倫理について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

病院や診療所で行われている医療について、医療現場の構造やそこで働く医療従事者の役割分担について具体例を挙げながら概説する。この医療全般の中における放射線医学、すなわち放射線診断学、核医学、放射線治療学それぞれの役割について解説する。とくに個々の分野で使用されるモダリティー（X線撮影装置、X線CT (computed tomography; コンピュータ断層撮影)、MRI (magnetic resonance imaging; 磁気共鳴映像法)、超音波装置、核医学装置、放射線治療装置など）についてその原理や特徴の概略を解説する。さらに医療従事者として必要とされる医療倫理およびそれに裏打ちされたマネジメントケアについて解説する。

履修上の留意点

広範囲にわたる放射線医学について理解を深めることが重要で、数多くの放射線診断あるいは放射線治療モダリティーの特徴、これらの臨床的有用性と限界について理解することが重要である。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

参考書等

H野原重明著『医学概論』(医学書院) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床医学概論(後期)	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	放2必	2

講義のねらい

医学概論で学んだ知識を基に、更に一步進めて主要疾患に対する核医学を含めた放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。IVR (interventional radiology) や近年、注目を浴びている遺伝子治療の中での放射線医学の役割についても概略を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系および循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿生殖器系、運動器系の疾患について放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。放射線医学で使用される各種診断モダリティーおよび核医学装置、放射線治療装置の有用性と限界について概説する。またX線造影剤およびMRI (磁気共鳴映像法) 用造影剤の種類と使用方法について概略を解説する。近年、急速な発展を遂げている血管あるいは血管以外におけるIVRの現況や放射線学における遺伝子治療についても概説する。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な種々の疾患の概念を習得し、実際の臨床に結びつく放射線医学(放射線診断学、核医学、放射線治療学)の基礎的知識を獲得することが重要である。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生理学(前期)	樋口雄三	放2必	1

講義のねらい

生命現象がホリスティックに恒常性が維持されていることを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 生命・健康・環境 | 7. 内分泌 |
| 2. 体液・血液 | 8. 脳・神経系 |
| 3. 循環系 | 9. 筋・運動系 |
| 4. 消化・吸収 | 10. 感覚 |
| 5. 代謝・体温 | 11. 生殖 |
| 6. 排泄 | 12. 免疫系 |

履修上の留意点

授業に出席し、ノートを整理すること。

成績評価の方法

定期試験、出席状況、態度などにより総合評価する。

教科書

下 正宗他『人体の構造と機能』(医学書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
病理学(後期)	蜂屋順一	放2必	2

講義のねらい

ヒトの疾病の原因、なりたちを形態的、機能的な変化から追求する学問であり、画像診断学、放射線治療学を理解するための必須の基礎的知識を習得するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

炎症、感染症、免疫異常、代謝障害、循環障害、腫瘍その他についての総論的解説につづいて各臓器の主要疾患の要点を説明する。

履修上の留意点

病理学の理解には既に学んだ解剖学の知識が必要になる。学習に際して正常解剖を適宜復習しつつ正確な知識を集積して欲しい。

成績評価の方法

定期試験

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生化学(前期)	原田和正	放2必	1

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 細胞 2. 酵素とビタミン 3. 代謝 4. 核酸と遺伝子 5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』(岩波書店)2,913円

参考書等

林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』(南江堂)2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
電子工学	かね こ じゆん いち 金子 順一	放2必	2

講義のねらい

電子工学は、電子の挙動の制御を通してエネルギーや情報を制御する技術である。この技術は、医療分野の測定器から日常生活まで極めて広い範囲の基礎となっている。本講義では、電子工学の基礎的な分野について理解することを目標として、以下の内容で講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の基本的性質、相互作用
2. 各種電子素子への応用
3. 基礎的な回路技術
4. 測定回路・測定器
5. 電子機器への応用

成績評価の方法

中間試験、定期試験及び出席状況で評価を行う。

教科書

宇佐美晶・曾根福保共著『テキストブック 電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円＋税 ISBN4-89019-115-1

その他

この科目は、診療放射線技師国家試験の試験科目に含まれている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原子核物理学	なが い よし のり 永井 喜則	放2必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。正確な理解をすると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図）
3. α 壊変（ α 線のエネルギー、ガイガーヌツタルの法則、トンネル効果）
4. β 壊変（ β^- 壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カリープロット）
5. γ 線放射（ γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスバウアー効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館） 鷺見義雄著『原子核物理入門』（裳華房）

その他

授業の中では演習問題を解くこともする。電卓を用意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射化学	やまもと ゆうすけ 山本 裕 右	放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
 本講義では、すでに1年次に学んだ「基礎化学」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「核医学検査技術学基礎実習」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「核医学」、「放射線管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。
 なお、診療放射線技師試験の科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位元素
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性同位元素の製造
5. 放射性同位元素の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

中間試験、学年末試験および平常点により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして 日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会 1,680円）を使用する。講義には必ず持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線生物学(後期)	はやかわよしひこ 早川吉彦	放2必	1

講義のねらい

放射線が生物に及ぼす影響を、分子や細胞のレベルから個体や集団のレベルに至るまで総合的に理解する。専門基礎分野の科目として、今後治療技術学や安全管理学を学んでいく上での基礎となる「被ばくの影響を正しく評価するための知識」を身につける。

20世紀後半における分子遺伝学の進歩によって、生物への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

講義の内容・授業スケジュール

次の各項目よりなる。

- 1 放射線生物学の基礎：細胞、遺伝
- 2 生物作用の初期過程：物理・化学・生化学的作用
- 3 放射線による細胞死、細胞の生存率曲線とその解析：標的理論、LQモデル
- 4 放射線影響の修飾：LETとRBE、線量率、分割照射、酸素効果、温度効果、細胞周期、増感剤・防護剤
- 5 DNA損傷とその修復、遺伝子突然変異と染色体異常
- 6 細胞への影響：分裂遅延、アポトーシス、適応応答、バースタンダー効果
- 7 組織・臓器への影響：早期障害と後期障害、確定的影響と確率的影響
- 8 放射線による発がんや遺伝的影響、胚と胎児への影響
- 9 腫瘍の放射線生物学：感受性と修飾、分割照射効果と4R、高LET放射線の効果、温熱療法
- 10 放射線被ばくのリスクと防護

履修上の留意点

授業開始時刻厳守のこと。

成績評価の方法

総合的評価として、期末に筆記試験を行う。出席状況も評価する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

江島洋介、木村博編、放射線技術学シリーズ『放射線生物学』（オーム社）2002年

その他

講義。形成的評価としてプレテストまたはポストテストを実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 計 測 学	あおき 青木 清 <small>きよし</small>	放 2 必	2

講義のねらい

放射線にはいろいろな種類があり、物質との相互作用もそれぞれ異なっている。さらに、同じ種類の放射線であっても、エネルギーにより振るまいが異なる。このような多様な放射線を計るため、たくさんの検出器が考案されている。正確な測定を行うにはこれらの検出器を目的に応じて使い分けることが大切である。本講義ではこれらのことを念頭に置いて、代表的な検出器の動作原理と特徴、ならびに測定結果の評価法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | |
|----------------------|----------------------|--|
| (前期) | | |
| (1) 放射線検出の概要 | (2・3) 電離箱の基本原理と構造 | |
| (4・5) 電離箱出力の測定 | (6・7) パルス電離箱 | |
| (8・9) 照射線量と各種電離箱 | (10~13) 電離箱による吸収線量測定 | |
| (後期) | | |
| (14~16) ガス増幅を利用した検出器 | (17・18) 半導体検出器 | |
| (19・20) シンチレーション検出器 | (21・22) 計数値の統計処理 | |
| (23・24) 放射線のエネルギー測定 | (25・26) 放射能の測定 | |

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするよう心がけてほしい。講義の後は短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

長哲二著『放射線計測学』（南山堂）2,940円

参考書等

『放射線計測学』（オーム社）、『放射線基礎計測学』（医療科学社）、『放射線計測学』（コロナ社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診 療 画 像 技 術 学	にし お せい じ 西 尾 誠 示	放 2 必	4

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や基礎的な画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位、及び理論的な撮影条件を始めとして臨床画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) X線撮影の基礎的知識
- (2) 頭部の撮影技術
- (3) 側頭骨・聴器の撮影技術
- (4) 副鼻腔・眼窩・顔面の撮影技術
- (5) 椎骨の撮影技術
- (6) 胸郭その他の骨の撮影技術
- (7) 四肢骨の撮影技術
- (8) 胸部の特殊性と胸部撮影の理論
- (9) 胸部撮影技術と画像
- (10) 腹部の特徴とその撮影技術
- (11) 乳腺・軟X線撮影の理論と技術
- (12) 上部消化管検査の技術
- (13) 小腸・大腸の検査について
- (14) 肝・胆・脾の画像検査について
- (15) 泌尿器系の画像検査について
- (16) 小児科領域の撮影技術

履修上の留意点

講義はPower Pointを用いるが、必ずノートをとること

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、各自の学習意欲も採点に加える。

教科書

立入弘他監修『診療放射線技術』（南江堂）6,800円
1年次に用いたものでも可

参考書等

『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 機 器 工 学	おく やま やす お 奥 山 康 男	放 2 必	2

講義のねらい

診断用X線発生装置をはじめとする各画像診断装置の基本原理、構造、特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、X線管装置から単相、三相全波整流式X線装置について。後期は、インバータ式、コンデンサ式、自己整流式X線装置やX線TV装置ならびに他の画像診断装置についての概要を講義する。

履修上の留意点

放射線機器工学を理解するには、電気工学、電子工学、物理学などを併せて履修する。基本的事項を理解して身につけることが必須であるため重視したい内容となる。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

青柳泰司ほか編『新版 放射線機器学（I）』（コロナ社）4,935円

参考書等

岡部哲夫ほか編『放射線診断機器工学』第2版（医歯薬出版株式会社）5,250円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 工 学 概 論 (前 期)	の ぐち まさる 野 口 勝	放 2 必	1

講義のねらい

医用画像形成システムに使われている画像情報の理論を理解し、画質の解析と評価、画像の処理、医療画像情報システム等に関する知識を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 医用画像情報の役割
2. X線画像の形成
アナログとデジタル画像
3. Fourier 変換
4. 画質の評価
入出力特性、解像特性、ノイズ特性、DQE、ROC
5. デジタル画像の処理
ファイル、フィルタリング、実際に使用されている処理
6. 医療画像情報システム
PACS、RIS、HIS、Tele-Radiology

履修上の留意点

講義の内容が多いので、自習を心がけること。

成績評価の方法

レポート、定期試験の総合点。

教 科 書

桂川茂彦編『医用画像情報学』（南山堂）

参 考 書 等

必要となる資料はプリントを配布する。

そ の 他

理解を深めるために、演習を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医用画像工学(後期)	かし 櫃 尾 英 次	放2必(診療)	1

講義のねらい

医用画像工学は、工業に利用されている画像工学および画像処理工学と共通する部分が多いため、その基礎を導入として学ぶ。次に医用画像診断機器で利用されている画像処理法について学修する。

講義の内容・授業スケジュール

前半に画像工学と画像処理工学を学び、後半で医用画像診断機器の画像処理について学修する。

- 第1回 画像の表現
- 第2回 画像処理システム
- 第3回 画像情報処理
- 第4回 濃淡画像処理
- 第5回 2値画像処理
- 第6回 コンピュータグラフィックス
- 第7回 画像認識
- 第8回 3次元画像処理
- 第9回 動画画像処理
- 第10回 核医学臨床プログラム
- 第11回 CT画像の再構成法
- 第12回 医用画像工学演習

履修上の留意点

画像処理工学の教科書により講義の予習と復習を行うこと。画像を扱う実験や画像診断機器の講義では、画像工学の講義との関連について学修してほしい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

メカトロニクス教科書シリーズ9 『画像処理工学』 (コロナ社)
必要に応じて教材用プリントを使用する。

参考書等

医用放射線科学講座14 『医用画像工学』 第2版 医歯薬出版(株)

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像数学(後期)	しむら 志 村 一 男	放2必(画像) 放2選(診療)	1

講義のねらい

画像数学は画像研究の基礎となる学問、科学である。X線写真、CT、MRといった様々な医用画像の画質評価、また画像強調、データ圧縮、画像認識といった各種の画像処理は全てその基礎となる画像数学の上に成立している。本講義を通じて画像数学を理解する事により、画質評価や画像処理の本質を把握してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 画像のデジタル化における数学
- 画質評価における数学
- フィルタ処理における数学
- データ圧縮における数学
- 画像間演算における数学
- 画像認識における数学

成績評価の方法

年度末試験、学習状況、出席等により評価する。

教科書

授業内容に関するプリントを随時配布する。

参考書等

ローゼンフェルド、カク『デジタル画像処理』(近代科学社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像検査技術学基礎実習 (前期)(後期)	にし お せい じ うい いえ ちり みち 西尾 誠示・氏家 盛通 たに ぐち たか ひさ はら まさ よ 谷口 貴久・原 昌代 よし のり たつ お 吉川 達生	放 2 必	1

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 頭部 X 線撮影法
頭部ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
- (2) 耳鼻科領域の撮影法
頭部ファントムを用いて副鼻腔及び聴器の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
- (3) 椎骨、骨盤の X 線撮影法
頸椎、腰椎骨盤ファントムを用い、頸椎、腰椎の撮影技術を習得する。
- (4) 四肢骨の撮影法
手関節、肘関節、膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- (5) 胸部の撮影技術と感光材料
胸部ファントムを用い、胸部の撮影手技を学び最適な撮影条件と検出系を選択する。
- (6) 乳腺の X 線撮影 (Mammography)
乳房用 X 線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線撮影の特殊性を理解する。
- (7) 胃造影検査法
X 線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視・撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価について学ぶ。
- (8) X 線 CT 検査法
X 線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
- (9) 超音波検査法
超音波診断装置を使用し、ファントムと生体にて超音波の原理と撮像技術を学ぶ。
- (10) CR の取扱法と画像処理
上記の実験と平行して CR (コンピューテッド・ラジオグラフィ) 装置の原理・構造と基礎的な画像処理について学ぶ。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、学習意欲、レポート・試問について総合的に判定する。
但し、定期試験の受験資格は全レポートの提出者のみである。

教 科 書

実験プリントを配布する。

参 考 書 等

参考：稲本一夫編『放射線画像技術学』(医歯薬出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
電気電子工学実験 (前期)(後期)	<small>すぎた</small> 杉田 <small>とれる</small> 徹・ <small>あおき</small> 青木 <small>きよし</small> 清 <small>かねこ</small> 金子 <small>じゆんいち</small> 順一・ <small>かわぞう</small> 川副 <small>まもる</small> 護 <small>よしだ</small> 吉田 <small>まさひろ</small> 正廣	放2必	1

講義のねらい

電気電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと、各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 直列共振・並列共振
2. 電磁誘導回路
3. RC回路
4. 三相12ピーク整流回路
5. コンデンサの充放電
6. 整流回路
7. 半導体素子
8. 集積回路
9. パーソナルコンピュータ I
10. パーソナルコンピュータ II

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『電気電子工学実験』（授業の時に配布）

その他

パーソナルコンピュータの実験は総合情報センターで行う。
前期、後期のはじめにガイダンスを行うので必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線機器工学実験 (前期)(後期)	榎尾 英次・奥山 康男 羽生 毅・原 昌代	放2必	1

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を、実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。眼底カメラについては、眼底写真の撮影法を実習し、後日眼科医による臨床講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。

- 1) X線管焦点寸法の測定
- 2) X線管電圧、X線管電流の測定
- 3) 眼底カメラによる眼底写真撮影
- 4) 撮影時間の測定
- 5) インバータ式X線装置の特性
- 6) X線CT装置によるファントム測定

履修上の留意点

実験は結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識の修得を図る目的で設置された科目である。実験中はすでに学修済みの内容の確認、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けてほしい。

報告書(レポート)の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識してほしい。報告書の提出時の試問は、記載内容の理解度を確認し、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求めることがある。

成績評価の方法

実験態度、報告書、試問、中間試験および定期試験などの結果によって総合評価する。

教科書

配布プリントを使用する。

参考書等

『JISハンドブック 39 放射線(能)』 最新版 (日本規格協会)
放射線機器工学の教科書

その他

実験科目の単位取得には所定のテーマを全て終了することが必要で、やむをえない理由により欠席した場合は、追実験を受けなければならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像解剖学(前期)	蜂屋 順一	放3必	1

講義のねらい

単純X線撮影、CT、超音波画像、MRIなど各種の医用画像診断の根底にあるのは正常画像解剖の知識であり、適切な検査を行うためにはこの点に関する正確な理解が要求される。既に習得した人体解剖学の基礎の上に臨床上に特に重要な領域の画像解剖学についての解説を行う。

講義の内容・授業スケジュール

基礎となる解剖学を新たに画像診断の角度からながめて要点を再確認しつつ、スライドで供覧する画像所見との対比を行う。対象領域は頭部、胸部、腹部、骨盤腔、四肢とする。

履修上の留意点

必要に応じて解剖学の講義で使用した教科書をよく復習すること。

成績評価の方法

定期試験。

教科書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像診断技術学 I (後期)	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	放 3 必 (診療)	1
		放 3 選 (画像)	

講義のねらい

放射線診療で利用されている画像診断法（主としてX線コンピュータ断層撮影（CT）や磁気共鳴画像法（MRI）、超音波検査など）の原理について習熟し、各モダリティの代表的な画像情報処理法を理解する。各種画像から得られる情報を総合的に診断する方法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. X線CT、磁気共鳴映像法（MRI）、超音波検査の撮像原理。
2. 各モダリティの特徴と限界、画像アーチファクト。
3. 各モダリティによる臨床画像読影。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線医学概論 (前期)	はち や じゅん いち 蜂 屋 順 一	放 3 必	1

講義のねらい

既に学んだ解剖学、病理学の基礎の上に、放射線診断が臨床医学の中で占める役割を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

放射線医学のはじまりと発展の歴史、放射線診断学の現況を解説すると共に、主要疾患につき診断手法の適応と選択、診断能とその限界について講義をすすめる。

履修上の留意点

既習の科目と関連する部分は各自必要に応じて復習しておくこと。

成績評価の方法

定期試験。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医学英語 (前期)	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	放 3 必	1

講義のねらい

医学領域では診療情報の伝達に英語が頻繁に用いられている。また英語圏におけるインターネットのホームページから得られる医学知識は膨大である。このように医療チームの一員として活躍する診療放射線技師にとって英語学習は必要不可欠なものとなっている。本講義では臨床の場に役立つ基本的な単語および診療録の慣用句を中心に学び、診療の場で実践に役立つ医学英語の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. 代表的な解剖用語、病名などの医学用語の習得。
2. 診療の場で用いられる代表的な英会話の習得。
3. インターネットのホームページ上の慣用句の習得。
4. 英文論文の抄読法の習得。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医用検査学	おく やま やす お 奥 山 康 男	放3必	1

講義のねらい

医用検査学は広義に病態解析と生体情報解析に大別できる。病態解析領域では生理機能を重視した基礎教育を行い、生体情報解析では生体情報を集める生体そのものについての概要を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

生態における様々な生命現象を体表から電気信号として誘導・測定して、これらの情報をデジタル化して視覚化する方法や心電図、MRI、超音波診断、心臓核医学などによって得られた画像の処理・解析法および疾患に特化した臨床診断などを用いて学習する。

履修上の留意点

各画像診断装置の基本原理や診療画像技術学の基礎知識を身につけておくこと。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

レジュメを用いる。

参考書等

新開英秀ほか編『医用画像検査技術学』（南山堂）4,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療画像情報学 I (後期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	放3必	1

講義のねらい

X線像、CT像を用いて臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、更に最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 概論
- (2) 画像形成に影響を与える要因と画質の評価尺度
- (3) 胸部における単純像とCT像
- (4) 腹部領域における画像評価。CT画像との対比。
- (5) 乳腺X線画像の評価。軟線と画質、乳腺画像の品質管理
- (6) 頭部単純像の画像評価
- (7) 消化管造影像の評価
- (8) 椎骨の画像評価
- (9) 四肢骨の画像評価
- (10) 心・大血管の検査と画像評価
- (11) 腹部血管の検査と画像評価
- (12) 頭部血管像と頭部CT像の画像評価

履修上の留意点

Power Pointを用い多くの画像について解説するので、生体解剖と対比しながら理解して欲しい。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、各自の学習意欲も採点に加える。

教科書

稲本一夫編『放射線画像医学』（医歯薬出版）3,800円

参考書等

講義用CD、及びプリント

その他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像診断機器工学(後期)	かし 櫃 お 尾 えい 英 じ 次	放3必	2

講義のねらい

画像診断機器工学は、MR イメージング装置を重点に講義する。その他、X線CT装置、CR、DSA装置および医用超音波診断装置についても概要を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 核磁気共鳴の物理的原理
2. スピンエコー法
3. MR 画像形成の原理
4. MR イメージングシステムの概要
5. MR イメージングの諸特性
6. X線CT装置の諸特性
7. CR、DSA装置の概要
8. 医用超音波診断装置の諸特性
9. 画像診断機器についての演習

履修上の留意点

放射線物理学、原子核物理学および超音波の性質について予め復習しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

放射線技術シリーズ 『MR撮像技術学』 日本放射線技術学会監修 (株)オーム社
必要に応じて教材用プリントを使用する。

参考書等

医用放射線科学講座 13 『放射線機器工学』 第2版 医歯出版(株)
レイ・H・ハツエミ他、監訳 荒木 力 『MRIの基本』 第2版 パワーテキスト (株)メ
イカル・サイエンス・インターナショナル

科目名	担当者名	配当学科	単位
救急医療学(前期)	おく やま やす お 奥 山 康 男	放3必(診療) 放3選(画像)	1

講義のねらい

総合的かつ広範な医学知識や技術が不可欠であるとともに十分な臨床経験が必要である救急医療において、診療放射線技師が実際の臨床現場で備えておかなければならない検査手技の基礎について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

救急医療学の概略と心構えを概論で講義し、救急医療における検査方法と手技、画像の読み方を解説する。さらに、放射線科領域における業務はその特殊性から患者さんと1対1になるケースが多いため、急変時の対応として実技を兼ねて市民上級救命士の体験学習も模索する。

履修上の留意点

救急医療は、一刻を争う処置が必要なこともあるため放射線領域の検査を担う診療放射線技師の技術、判断力は患者さんの生命に何らかの形で関与すると言っても過言ではない。目の前の問題を迅速に処理するための実践的な内容を重視した講義となる。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

志賀元ほか編『救急医療パーフェクトマニュアル』(羊土社)6,090円

参考書等

講義のときに紹介

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床医療人間学Ⅰ(後期)	おく やま やす お 奥 山 康 男	放3必	1

講義のねらい

医療現場で発生する倫理的諸問題すなわち生命倫理について学び、生命倫理を広く人間学の立場から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

科学史と医療との関係からはじまり、人間理解の心理学と哲学、ターミナルケア、尊厳死と安楽死、人工臓器と生命維持など、医療分野を学ぶ人のために必須となる生命と医療の原点を考える。

履修上の留意点

倫理(学)とは、「他者(患者)との人間関係において、わたしはいかに振る舞うべきかを考える哲学」の学問である。この教科をよく理解するには、同じ内容の話しや同じ事例を話しても学生の受け止め方がまちまちなはずである。何が正しいのかを自分で判断できる力を養うことを重視する。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験にて総合的に判定。

教科書

教科書は使用せず、レジュメを用いる。

参考書等

菅野盾樹『人間学とは何か』(産業図書) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
核医学	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	放3必	2

講義のねらい

核医学検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性医薬品を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定(患者検査)および医学試料の測定(血液・糞尿など)に大別される。これらは放射性医薬品を生体内に投与するもの(インビボ法)と投与しないもの(インビトロ法)の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 核医学の基礎知識 核医学とは・核医学の歴史・安全管理
- 放射性医薬品 インビトロ用放射性医薬品・インビボ診断用放射性医薬品
・核医学治療用医薬品・シングルフォトンおよびポジロン放出放射性医薬品・
- インビボ検査各論 中枢神経系(脳血流・脳脊髄・FDG-PET) 内分泌(甲状腺・副甲状腺・副腎) 呼吸器(肺血流・肺吸入) 循環器(心筋血流・心プール) 消化器(唾液腺・肝・胆道・出血) 泌尿器(腎・レノグラム) 骨・関節、血液・造血器(循環血液・赤血球寿命・骨髄・リンパ) 腫瘍炎症(ガリウム・タリウム・FDG-PET)
- インビトロ検査 検査の概要、検査の基礎、検査の原理、検査の流れ、測定試料の評価、基準値
- 核医学治療 治療の概要、甲状腺、骨転移の除痛療法

履修上の留意点

病院実習Ⅱでは、核医学検査技術学の実習が50%を占めているので相互理解を深めるように努めること。

成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『核医学検査技術学』(南山堂) 4,200円

参考書等

『最新核医学検査技術』(メディカルトリビューン) 5,000円
『核医学ノート』(金原出版) 4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 計 測 学 (前 期)	こ やま まさ き 小 山 正 希	放 3 必	2

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理して中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた利用状況について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子をパルス測定する場合の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の確度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。
定期試験の他、随時おこなう中間試験、出席状況などにより評価する。

成績評価の方法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 腫 瘍 学 (後 期)	たか やま まこと 高 山 誠	放 3 必	2

講義のねらい

癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。
放射線の人体に対する影響などの放射線治療の基礎となる放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器の特性、使用方法について解説を行う。放射線治療を行う際の放射線治療計画、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。
また、医療技術の進展の中で、特に放射線治療の技術的な動向について考える。
新しい治療方法である定位放射線治療や強度変調照射（IMRT）の現況、応用に関する技術的問題点など、その方向と展開に注目する。

成績評価の方法

授業出席、受講態度などと定期試験による。

教 科 書

村上晃一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 機 器 工 学 (前 期)	かし 櫃 尾 英 次	放 3 必	1

講義のねらい

応用機器工学は、核医学診断装置を前半に講義する。また、後半に加速器関連で放射線治療に用いられる線形電子加速器を重点に講義し、その他の加速器、サイクロトロンやマイクロトロン等についてもその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前半に核医学診断装置、後半に加速器を学修する。
1. 放射線計測の基礎
 2. ガンマカメラ
 3. SPECT
 4. PET
 5. 核医学データ処理システム
 6. 加速器の概要
 7. 線形電子加速器、進行波型加速管の加速方法
 8. パルス変調器、偏向マグネット、真空装置および水冷装置
 9. 照射ヘッド
 10. 線形陽子加速器
 11. サイクロトロン、シンクロトロン、マイクロトロン
 12. 核医学診断装置関連の演習
 13. 加速器関連の演習

履修上の留意点

放射線計測学、放射線物理学、原子核物理学などで、シンチレーション検出器、ガンマ線放出核種、放射線計測回路および加速器に関連のある項目について予め予習しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

三枝 健二、入船 寅二他共著、新版 『放射線機器学』(Ⅱ)放射線治療機器・核医学検査機器 コロナ社
必要に応じて教材用プリントを使用する。

参 考 書 等

放射線技術シリーズ 『核医学検査技術学』 日本放射線技術学会監修 (株)オーム社
実験物理学講座28 『加速器』 共立出版(株)

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像工学Ⅰ(前期)	たかのまさお 高野正雄	放3必(画像)	1
		放3選(診療)	

講義のねらい

医用画像形成システムに使用されている画像データ処理に関する基礎理論の学習と演習をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 画像情報のデジタル化
2. 標本化と量子化
3. 二次元及び三次元画像形成システムの画像データの取り扱い
4. 画質改良のための画像処理
5. 保管/検索、通信のための画像処理
6. CADシステム

履修上の留意点

理解を深めるための補足資料を配布します。よく復習して下さい。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の総合点。

教科書

岡部哲夫、藤田広志編集『医用画像工学(第2版)』(医薬出版)4,900円

参考書等

谷口慶治編『画像処理工学』(共立出版)3,800円

その他

演習を多くおこないます。欠席しないように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像工学Ⅱ(後期)	たかのまさお 高野正雄	放3必(画像)	1
		放3選(診療)	

講義のねらい

「画像工学Ⅰ」で学習した基礎理論をもとに、実際に医療現場で実用されている画像形成システムの具体的構成要素について、理論的にその内容を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 画像情報の検出器と入力装置
2. 画像処理のアルゴリズム
3. 出力装置と視覚系による読影
4. 医療画像情報のネットワーク構築と画像処理

履修上の留意点

学習内容が多いので、良く復習して下さい。

成績評価の方法

レポート及び試験の総合点

教科書

岡部哲夫、藤田広志編『医用画像工学(第2版)』(医薬出版)3,800円

参考書等

岡部哲夫、瓜谷富三編『放射線診断機器工学(第2版)』(医薬出版)5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像処理言語論（後期）	近藤 啓介	放3必(画像)	1

講義のねらい

医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要があり、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。

この授業では「計算機言語論」で習得したC言語を利用して、実際の医用画像に対して基本的な画像処理プログラムを作成する。そして、画像処理がコンピュータの中でどのように処理されているのかを自らプログラミングすることにより理解する。

講義の内容・授業スケジュール

画像のデジタル化
 医用画像の構成
 平滑化フィルタ
 ラプラシアンフィルタ
 ソーベルフィルタ
 メディアンフィルタ
 ボケマスク処理

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、『医療画像処理実践テキスト』（オーム社）4,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線関係法規（前期）	青木 清	放3必	2

講義のねらい

法律上、放射性同位元素および放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。さらに、保護法益、取扱の態様等により電離放射線障害防止規則等により規制される。本講義ではこれらの法律の内容と関連性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・関係する各種法令の体系的な把握
- ・各法令での定義や規制に関する共通性・特異性のある事項の抽出
- ・管理技術との関連性に着目した法令条項の理解
- ・数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- ・係わる各種業務に対応した法令の把握
- ・想定される各種実務に対する法令の理解と把握

履修上の留意点

基本的事項を確実に把握するよう心がけてほしい。

成績評価の方法

定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』（医歯薬出版）4,200円

参考書等

『医療放射線防護関係法令集』（日本アイソトープ協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線管理学(後期)	あおき きよし 青木 清	放3必	1

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要である。そのための基本的な理念と指針を与えているのが「国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告」である。本講義ではこの勧告の概要について理解し、放射線計測・線量計測技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 放射線管理の基本概念
2. 放射線生物学上の考慮
3. 線量制限の体系と放射線防護体系
4. 放射線防護実施の一般原則
5. 職業上、医療上の被曝
6. 放射線モニタリング技術
7. 被曝計測評価
8. 個人被曝管理
9. 放射性同位元素の管理と取扱い
10. 放射線遮蔽

履修上の留意点

関連する法令と関連させた視点で理解するよう心がけてほしい。

成績評価の方法

定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版)4,200円

参考書等

『ICRP Publication60国際放射線防護委員会の1990年勧告』(日本アイソトープ協会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
技術英語(後期)	たかほし まさみ 高橋 優身	放3必	1

講義のねらい

放射線技師のための「専門英語」を習得することがこの科目の目標であるが、開講が半期のため、「信頼される」放射線技師であるための必須条件に絞って、関連の「専門英語」を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回 Want to Be an R.T. ? (1)
- 2回 Want to Be an R.T. ? (2)
- 3回 ASRT Code of Ethics (1)
- 4回 ASRT Code of Ethics (2)
- 5回 Practice Standards (1)
- 6回 Practice Standards (2)
- 7回 Radiography Clinical Performance Standards (1)
- 8回 Radiography Clinical Performance Standards (2)
- 9回 Quality Performance Standards (1)
- 10回 Quality Performance Standards (2)
- 11回 Professional Performance Standards (1)
- 12回 Professional Performance Standards (2)

履修上の留意点

規定の出席率を越えた学生のみ試験受験資格を有する。予習が必要であろう。授業時の活発な発言を期待する。

成績評価の方法

試験および授業貢献度等を総合的に評価。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示。

その他

演習形式で行うので、学生主体の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像工学実験 (前期)(後期)	高野 正雄・大谷 克彦 近藤 啓介・野口 勝 侯野 公志	放3必	1

講義のねらい

画像診断分野は急速にデジタル化が進行し、画像処理の知識や技術が大変重要になってきている。本実験では、デジタル画像処理とはどのようなものか、また画像処理が視覚による読影にいかにも有効であるかにつき、CR画像形成システムや画像解析装置を使用して体験学習する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

テーマは大きく分けて二つに分かれている。一つのテーマについて2週間にわたって実験し、レポートをまとめる。

1. 画像診断の原点であるアナログのX線画像とデジタルのX線画像の画質解析。

- ①胸部ファントム画像の視覚評価
- ②MTF、Wiener Spectrumによる物理評価
- ③画像処理と画質の関係

2. CR画像形成システムの画像データの特性解析

- ①デジタルMTF、Wiener Spectrum、NEQの測定
- ②画像処理とNEQの関係

〔後期〕

画像処理の基本となる項目、標準化/量子化レベルの画像、ヒストグラム解析、各種フィルター処理等々について、4テーマについて学習する。

1. 一般画像についての画像処理
2. 医用画像についての画像処理
3. サブトラクション画像処理
4. パントム、マンモ画像の画像処理

履修上の留意点

「画像工学概論」で学習した理論を確実な知識とするための実験科目である。そのため、事前に教科書を復習しておくこと。

診断のために、よりよい画質の医療画像を作り出す必要がある。物理評価・解析はそのための手段として、視覚評価は判断として大変重要なものである。実験中は撮影したファントム画像を良く観察し、また物理測定データを十分に検討して、内容のあるレポートにまとめて下さい。検討が不十分な場合は再提出をしてもらいます。

成績評価の方法

実験中の態度、レポート、中間試験、定期試験などを総合評価する。

教科書

配布プリントを使用する。

参考書等

画像工学概論教科書

その他

単位取得には所定のテーマを全て受け、レポート及び試験にパスする必要があります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療技術学実験 (前期)(後期)	小山 正希・佐藤 昌憲 高城 保・羽生 毅 原 昌代	放3必	1

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。

講義の内容・授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

- 1) 吸収線量の測定。
高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここではCo・60線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合せによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。Co60線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。
- 2) フィルムによる放射線場の測定。
計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここではCo60線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。
- 3) 半導体検出器によるα線の測定。
表面障壁型半導体検出器を使用してα線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集収率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。
- 4) GM計数管による線源のβ壊変率測定。
GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。
実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

参考書等

日本医学物理学会編『外部放射線治療における吸収線量の標準測定法』(発行通商産業研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線管理学実験 (前期)(後期)	青木 清・金子 順一 杉田 徹・永井 喜則	放3必	1

講義のねらい

エックス線撮影において患者被曝線量を把握しておくことは大切なことである。また、撮影状況によっては術者または患者周辺の人が被曝する場合もある。このような場合の被曝線量も知っておかなくてはならない。本実験では直接線ならびに散乱線によってどの程度の被曝を受けるか測定し、被曝低減の方策について考える。併せて、放射線管理業務上必須となるコンピュータによるデータ収集と機器制御についても実験する。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 一般撮影における被曝管理
2. CT撮影における被曝管理
3. 乳房撮影における被曝管理
4. 病室撮影における被曝管理
5. コンピュータによるデータ収集
6. コンピュータによる機器制御

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。また、放射線管理学、放射線計測学、診療画像情報学等での学修内容と関連づけながら実験を進めること。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
核医学検査技術学基礎実習 (前期)(後期)	山本 裕右・氏家 盛通 小林 久夫・原田 和正 村上 雅彦	放3必	1

講義のねらい

主として核医学検査技術学、放射化学領域における実験を行う。本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」、3年時に学ぶ「核医学」での知識を基に、ガンマカメラ、^{99m}Tcのミルキング、核医学領域における非密封放射性同位元素の取扱い、放射線計測の基礎についての実験をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. ガンマカメラの性能評価：均一性、分解能、直線性などの基本性能試験
2. ガンマカメラの各種撮像法：静止画像、全身画像、SPECT画像の撮影
3. ^{99m}Tcのミルキング a) コールドラン、b) ホットラン：^{99m}Tc ジェネレータからの溶出、溶媒抽出法による^{99m}Tcのミルキング、ガンマ線スペクトルの測定、半減期の測定（ホットランは学外実習として行う）
4. マイクロピペットの検定：重量法、吸光度法
5. フリッケ線量計による吸収線量の測定：線量計の調製、線量測定
6. ポジトロン同時計数測定：PETの基本実験としてポジトロン放出核種を用いた同時計数測定
7. マルチチャンネル計測法：マルチチャンネル波高分析器を使用しての未知核種のガンマ線スペクトル測定とその同定

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会） 1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像検査技術学実習	蜂屋 順一・奥山 康男 西尾 誠示・原 昌代	放3必	4

講義のねらい

これまでの講義や実験で習得した知識をもとに、実際の医療の現場で放射線診療の流れを見分し、診療放射線技師の役割を理解すると共に今後の学習に参考とすべき点を学ぶ。実習に先立って担当教員と実習病院指導者から必要事項のガイダンスをうける。

講義の内容・授業スケジュール

1. 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法
2. 実習病院の組織、機能、施設についての説明
3. 患者接遇など病院内で実習する上の心得
4. 分野別の実習
 - a. 一般撮影
 - b. 消化管撮影
 - c. 血管造影
 - d. X線CT
 - e. MRI
 - f. 救急医療での撮影

履修上の留意点

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格を取得するための必須科目となっている

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と学生の提出する実習報告書による

科目名	担当者名	配当学科	単位
計算機言語論(前期)	近藤 啓介	放3選	2

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されている。画像処理を行うためには、画像処理ソフトを利用する方法もあるが、新しい方法で処理する場合や、開発をするためには、自らプログラミングする必要がある。この授業では、プログラミングのための基本的な知識を習得する。プログラミング言語はC言語を利用します。

講義の内容・授業スケジュール

変数とは
変数による計算
繰り返し文
分岐文
サブルーチン
出力
Σの計算
ソートプログラム

履修上の留意点

画像処理言語論の受講にあたっては、この授業にてC言語の知識を習得している必要がある。画像処理言語論の受講予定者は必ず受講すること。授業の半分は演習を行います。積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療宗教学(前期)	田上 太秀	放3選	2

講義のねらい

人の生涯は生・老・病・死の四つで見ることができ、それらのいずれにも医療、あるいは医学が関わらないことはない。人間の歴史が始まって以来、医療は密接であった。一方、医療以上に宗教も関わっていることが知られた。それは、医療と結びついていたのである。今日、医学、あるいは医療は宗教とは無関係のように考えられているが、人間の歴史を見ると、二つの関係は車の両輪のようであった。本講義は医療と宗教との関わりについて、とくに古代インドを中心に解説することをねらいにしている。

講義の内容・授業スケジュール

わずかに半期の講義であるので、ほとんど概要を述べることになるので、次のような内容となる。

1. 医学の歴史に関するもの(はじめに)
2. インド医学の思想的背景
3. アーユル・ヴェーダと歴史背景
4. アーユル・ヴェーダから終末期医療まで(最初期の仏教との関連)
5. 仏教医学に関するもの

履修上の留意点

出席カードを配布し、自分で出欠を記入させる。過半数(授業時数の)以上の出欠が必須である。

成績評価の方法

期末のテストによって成績評価する。

教科書

作成したプリントを使用。

参考書等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 経 済 学 (前 期)	^{なが} 永 ^{やま} 山 ^こ くに子	放 3 選	2

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教 科 書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参 考 書 等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

Ⅲ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本事情」
「日本語」

Ⅲ 「日本語」・「日本事情」科目

《日本語科目》

日本語入門Ⅰ a	〈吉田 露子〉	171
日本語入門Ⅰ b	〈吉田 露子〉	171
日本語入門Ⅱ a	〈吉田 露子〉	172
日本語入門Ⅱ b	〈吉田 露子〉	172
日本語Ⅰ a・Ⅰ b	〈佐野 典子〉	172
日本語Ⅰ a	〈多田羅 哲子〉	173
日本語Ⅰ b	〈多田羅 哲子〉	173
日本語Ⅱ a・Ⅱ b	〈佐野 典子〉	173
日本語Ⅱ a	〈多田羅 哲子〉	174
日本語Ⅱ b	〈多田羅 哲子〉	174
日本語Ⅲ a	〈多田羅 哲子〉	174
日本語Ⅲ a・Ⅲ b	〈湯村 礼子〉	175
日本語Ⅲ b	〈多田羅 哲子〉	175
日本語Ⅳ a	〈石川 守〉	175
日本語Ⅳ a	〈湯村 礼子〉	176
日本語Ⅳ b	〈石川 守〉	176
日本語Ⅳ b	〈湯村 礼子〉	176
日本語Ⅴ a	〈石川 守〉	177
日本語Ⅴ a	〈多田羅 哲子〉	177
日本語Ⅴ b	〈石川 守〉	178
日本語Ⅴ b	〈多田羅 哲子〉	178
日本語Ⅵ a	〈石川 守〉	178
日本語Ⅵ a	〈多田羅 哲子〉	179
日本語Ⅵ b	〈石川 守〉	179
日本語Ⅵ b	〈多田羅 哲子〉	179

《日本事情科目》

日本事情Ⅰ〔地理〕(後期)	〈高橋 健太郎〉	180
日本事情Ⅱ〔自然〕(前期)	〈清水 善和〉	181
日本事情Ⅲ〔歴史〕(後期)	〈浅倉 直美〉	182
日本事情Ⅳ〔思想〕(前期)	〈赤羽 由規子〉	182
日本事情Ⅴ〔社会〕(前期)	〈坪井 健〉	183
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕(後期)	〈中野 裕二〉	184
日本事情Ⅶ〔文学〕(後期)	〈相澤 貴之〉	184
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕(後期)	〈赤羽 由規子〉	184
日本事情Ⅸ〔経済〕(前期)	〈吉田 敬一〉	185
日本事情Ⅹ〔経営〕(前期)	〈宮城 徹〉	185

「日本事情」
「日本語」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門 I a (前期)	よし だ ふう こ 吉 田 蒔 子	放	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語入門 I b (後期)	よし だ ふう こ 吉 田 蒔 子	放	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱa(前期)	よしだふみこ 吉田 落子	放	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力(聴く、読む)と、産出能力(話す、書く)をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱb(後期)	よしだふみこ 吉田 落子	放	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力(聴く、読む)と、産出能力(話す、書く)をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰa(前期)	さのりこ 佐野 典子	放	1
日本語Ⅰb(後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物(毎週)、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I a (前期)	たたらあさこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I b (後期)	たたらあさこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II a (前期)	さのりこ 佐野 典子	放	1
日 本 語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ a (前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ b (後期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	湯村礼子	放	1
日本語Ⅲ b (後期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにすること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅哲子	放	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	石川守	放	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	湯村礼子	放	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ b (後期)	石川守	放	1

講義のねらい

日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時にことわざを毎時間授業のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業中の私語など、授業態度の悪いものは欠席処置の上、退室を命ずることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ b (後期)	湯村礼子	放	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V a (前期)	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	放	1

講義のねらい

日本語の基礎を呼称や指示詞などはじめからやっています。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の基礎文法の前半部分をやっています。

履修上の留意点

1年生向き。日本語の基礎をもう一度振り返り、しっかりした基礎を作るため、より深くやっています。その関係で進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたい場合は、他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V a (前期)	多田羅 哲子 <small>たたら あき こ</small>	放	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	放	1

講義のねらい

日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	多田羅 哲子 <small>たたら あき こ</small>	放	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI a (前期)	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	放	1

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語 V に引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 V で行った日本語の後の部分をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は日本語 V の続きの内容なので、日本語 V を履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進度はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI a (前期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI b (後期)	いしかわまもる 石川 守	放	1

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。
授業のはじめに「ことわざ」をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分をやっていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI b (後期)	たたらあきこ 多田羅 哲子	放	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 I 〔地理〕 (後期)	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	放	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 観光開発、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教 科 書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II 〔自然〕(前期)	し 清 み 水 よ 善 か 和	放	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あさ くら なお み 浅 倉 直 美	放	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の本店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ば ゆき こ 赤 羽 由規子	放	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

その他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(前期)	つばい 井 健 つよし	放	2

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動 1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動 2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情 1－講義－
5. 地域社会の実情 2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情 3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情 1－講義－
8. 学校教育の実情 2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情 3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情 1－講義－
11. 高齢社会の実情 2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情 3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度 (60%) + 課題レポート (40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(後期)	なかのゆうじ 中野裕二	放	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・
授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。
・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	あいざわ たかゆき 相澤貴之	放	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教科書

必要に応じてプリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかば ゆきこ 赤羽由規子	放	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	放	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

その他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	みや ぎ てつ 宮 城 徹	放	2

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。

「日本事情」
「日本語」

